



HONDA
The Power of Dreams

How we move you.
CREATE ► TRANSCEND, AUGMENT

FREED

PRESS INFORMATION 2024.6.27

コンパクトミニバンの価値と可能性を拡張する。

1990年代、ファミリーカーの主役としてミニバンが絶大な人気を博し、また、経済性と実用性に優れたコンパクトカーが改めて高く評価されていました。そうした時代のなかでHondaがめざしたのは、ミニバンの魅力とコンパクトカーの実用性を兼ね備えた、世界一価値の高いファミリーカーを創り出すことでした。そして2001年、コンパクトなボディーサイズのなかに7人がしっかり乗れる広さを実現した3列シート車モビリオを発表。2008年には志をフリードに受け継がせ、

“家族の毎日を多彩に広げる乗り物”をめざして進化を重ねてきたのです。モビリオの発表から20有余年、クルマを取り巻く環境は大きく変わり、コンパクトミニバンに対する期待もより多様に、かつ、高度になりました。Hondaは、そうした時代の声を受け止め、現代における「世界一価値の高いファミリーカー」を追求すると同時に、より多様な期待に応えるモデルとしてクロスターを進化させることで、コンパクトミニバンの価値と可能性を大きく拡張する開発に取り組みしました。



MOBILIO Spike
2002年9月



MOBILIO
2001年12月

世界一価値の高いスモールミニバンをめざし、コンパクトなボディーで大人7名乗車を可能とした3列シート車「モビリオ」を発売。翌年、趣味や遊びの世界を広げる2列シートのマルチワゴン「モビリオ スパイク」を発売。



FREED Spike
2010年7月



初代 FREED
2008年5月

ライフスタイルに合わせて自在に使いこなせる新価値ミニバンをめざし「フリード」を発売。2年後、多彩な使い方が可能な荷室を備えたコンパクトハイトワゴン「フリード スパイク」を発売。



FREED+
2016年9月



2代目 FREED
2016年9月

3列シート車の「フリード」と2列シート車の「フリードプラス」を同時発売。福祉車両を含め16通りのワイドなバリエーションを展開。クロスオーバースタイルの「フリード クロスター」を追加発売。



FREED CROSSTAR
2019年10月



FREED CROSSTAR
2024年



3代目 FREED AIR
2024年

あらゆるシーンで活躍する機能性と使いやすさ。

家族構成やライフスタイルによってクルマに求める価値はさまざまです。しかし、多様なニーズに真摯に応えてこそ「世界一価値の高いファミリーカー」は実現できると考えます。Hondaは、そうした志のもと、コンパクトミニバンとして当たり前になるべき基本価値を大切に受け継ぎ進化させ続けています。

あつかいやすいこと

コンパクトなボディサイズであることはもちろん、死角の少ない運転視界、唐突感のない出力特性などによって、不慣れな方でも不安なく運転でき、熟練した方は楽しくドライブできるあつかいやすさを大切にしています。



* 画像は初代FREED

シートアレンジが簡単にできること

多彩なモードを備えていても、操作が難しかったり手間がかかったりしては、シートアレンジそのものをおくうに感じてしまうかもしれません。少ない手順、小さなチカラで操作できるシートアレンジを大切にしています。



* 画像は初代FREED

3列どの席でも快適に座れること

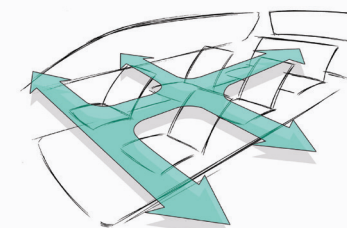
使用頻度が低いからといって、3列目席の座り心地を妥協しては、車内を楽しさで満たすことは難しいでしょう。2家族でのレジャーや帰省時の多人数移動でも乗員全員がゆったり過ごせるよう、3列すべてで大人が快適に座れる居住性を守り続けています。



* 画像は2代目FREED

らくらくウォークスルーできること

ファミリーユースにおいて子供のケアは重要なテーマです。初代から2列目席にキャプテンシートを設定することで、車外に出ることなく3列全席を移動できるフリーウォークスルーを大切にしています。



* 画像は初代FREED

CONTENTS

はじめにP2
フリードが考えるコンパクトミニバンの基本価値...P3
開発にあたってP4

開発コンセプトP5
進化ポイントP6
タイプバリエーションP7

パッケージP8
エクステリアP12
インテリアP17

ダイナミック性能P25
安全P36
コネクティビティP40

スロープ/リフトアップシート...P42
主要装備P45
主要諸元/環境仕様P46

「ちょうどいい」のその先へ。

あつかいやすいコンパクトなサイズと、開放的で使い勝手に優れた室内を両立させたフリードは、暮らしに寄り添った、まさに「ちょうどいい」クルマとして幅広い層のお客様に支持されています。3代目となる新型フリードの開発にあたって最初に考えたことは、歴代フリードが築いた「ちょうどいい」を超える価値とは何かということでした。そして導いた答えは、暮らしに寄り添うだけでなく、お客様の気持ちにまで寄り添えるクルマを生み出そうという方向性です。

暮らしのなかでわたしたちは、時間に追われたり、ストレスを感じたりすることが少なくありません。こころがギスギスしそうな忙しさも、ため息をつきたくなるような出来事も、笑顔で乗り越える助けになりたい、そのために乗る人のところに余裕をもたらすクルマをつくりたい、と思いました。

デザインや走り・機能を進化させることは、開発者として当然です。そのうえで、これまで気づかなかった細部にまで気を配り、議論と工夫を積み重ねながら、お客様の気持ちに寄り添うクルマをめざしました。そして、運転する人はもちろん、家族や友人など同乗するすべての人たちが、安心で、安全で、快適に、楽しく過ごせるフリードを完成させることができたと自負しています。

わたしたち開発チームの思いを込めた新型フリードが、乗る人のところに余裕をもたらし、笑顔の毎日の一助となることを願ってやみません。



新型フリード開発責任者

安積 悟 あづみ さとる

本田技研工業株式会社
電動事業開発本部 BEV開発センター
シニアチーフエンジニア

1985年、株式会社本田技術研究所入社。外装部品設計などに従事し2000年にアジア大洋州向け2代目シティ（日本名フィットアリア）のエクステリア設計プロジェクトリーダー（PL）を担う。エアウェーブ、S660などの開発責任者代行（設計領域）を歴任したのち、2019年、5代目シティの開発責任者（LPL）を経て、今回、新型フリードの開発責任者を務める。愛車は、S660、ステップワゴン、X-ADV、クロスカブ110、CRF250F。旅行、アウトドア、S660でのツーリング、バイクのオンツーリング、オフロードツーリング、オフロードレース、スノーボードなど多趣味。



「こころによゆう」をもたらし、暮らしを笑顔で満たすクルマの創造。

お客様の気持ちにまで寄り添えるクルマ。その志を体現するためには、フリードが提供すべき価値を明確に言語化する必要がありました。

フリードは、子育てファミリーのファーストカーとして利用されることが多いモデルです。ユーザー調査においても、平日はママが子供の送迎や買い物に使用し、休日はパパが運転して外出するという使われ方が中心であることがあきらかでした。そうした子育てファミリーにお届けしたい価値は、「家族のしあわせ」に尽きます。

開発チームには、さいわいにも子育て中のメンバーが多く参加しており、生活実感に基づく深い議論を重ねることができました。子育てのたいへんさや毎日の忙しさがリアルに浮き彫りとなるなかで、家族のしあわせにもっとも大切なのはこころの余裕ではないか、という仮説にたどり着きます。余裕があればやさしさが生まれ、支え合うことができます。支え合うことでお互いが笑顔になれば、その笑顔がまた余裕を生み出すという、しあわせのサイクルが回り始めると考えたのです。

こうした考え方から、歴代フリードの「ちょうどいい(Just Right)」価値をさらに進化させるだけでなく、家族の毎日に笑顔をもたらすクルマをめざし、「“Smile” Just Right Mover」という開発コンセプトを策定。具現化の柱となる3つのコア価値を定め、笑顔の毎日に不可欠なこころの余裕の創造に取り組みしました。



よゆう のフォルムと 扱いやすいサイズ



自由にあつかえるサイズと
安心感を与えるデザイン

よゆう で便利な 使い勝手とパッケージ



思いやりがあり、便利で
いろんな事に対応出来るパッケージ

よゆう を感じる 乗り心地と素直な性能



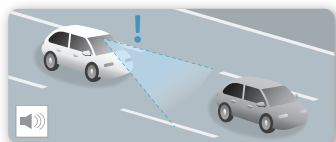
安心感と快適で
みんなにやさしいダイナミクス

こころの余裕、みんなの笑顔のために全方位で進化させました。



AIR CROSSTAR

●個性明快2つのフリード ▶P7



●さらに進化した「Honda SENSING」 ▶P37



●見やすくわかりやすい7インチ TFT液晶メーター ▶P19



● Honda CONNECTでつながる ひろがるカーライフ ▶P41



●運転のしやすさを徹底追求した 視界とデザイン ▶P18



●快適に過ごせる2列目席・3列目席 ▶P21



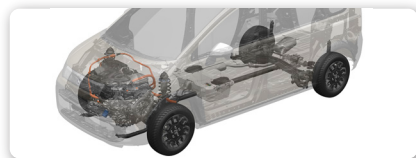
●らくらくアレンジ&広々スペース (3列シート車) ▶P10



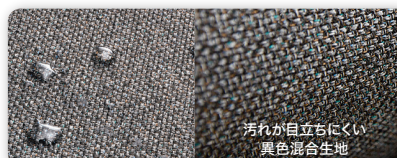
●楽しさ広がるラゲッジスペース (2列シート車) ▶P23



●駐車も安心マルチビュー カメラシステム ▶P39



●2モーターハイブリッド e:HEV搭載 ▶P27



●汚れにくい撥水・撥油性シート表皮 「ファブテクト」 ▶P24



●リアクーラーで全席快適 ▶P22

家族の「AIR」と、遊びごろの「CROSSTAR」。

先代フリードでは、2019年に追加発売したクロスターが好評を博し、もうひとつのフリードへ成長しました。新型フリードでは、子育て層に向け、ファミリーカーとしての魅力をさらに高めたタイプを「AIR」と命名し、一方、「CROSSTAR」は、クロスオーバースタイルのデザインをさらに進化

させるとともに、アウトドアレジャーの楽しさを広げる機能的価値を充実させることで、それぞれの個性をより明確化しました。

“Smile” Just Right Mover

FREED AIR —こころによゆう 笑顔の毎日—

コンパクトなボディにファミリーカーとしての価値を進化させて凝縮。走り、燃費、運転のしやすさ、使い勝手などすべてを高め、家族の毎日に笑顔をもたらすフリード。



3列シート車 6人乗り
(2列目キャプテンシート)



3列シート車 7人乗り
(2列目ベンチシート)

FREED CROSSTAR —こころによゆう 充実の毎日—

「AIR」をベースにタフネス感を大胆に表現。2列シート車は、荷室にアウトドアレジャーの楽しさを広げる工夫を施しました。平日も休日も充実させる、遊び心いっぱいのフリードです。



3列シート車 6人乗り
(2列目キャプテンシート)



2列シート車 5人乗り
(後席ベンチシート)

■FREED CROSSTAR スロープ/ FREED CROSSTAR リフトアップシート(助手席)

クロスターのデザインテイストをそのままに、車いすのまま乗り降りできる「FREED CROSSTAR スロープ」と、助手席が電動で回転&昇降する「FREED CROSSTAR リフトアップシート(助手席)」を設定しました。

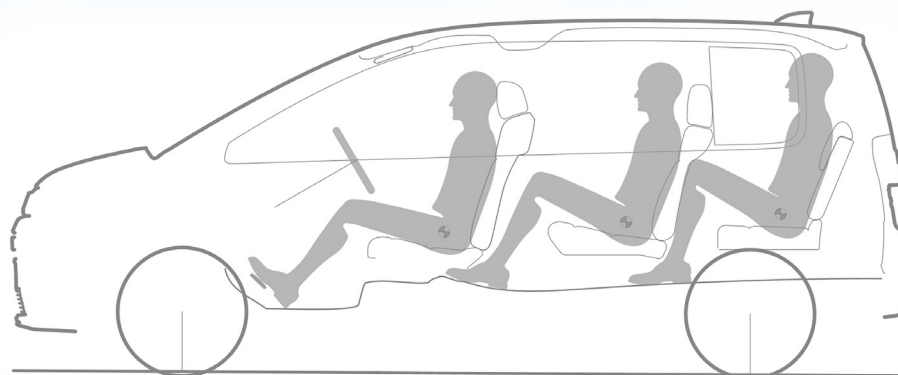


スロープ 6人乗り
(通常時5人/車いす乗車時6人)



リフトアップシート(助手席)
6人乗り

パッケージ

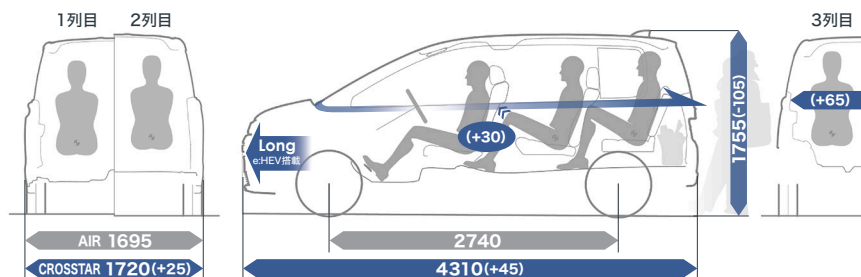


あつかいやすいボディーサイズを守りながら、快適性と使い勝手を高めた思いやりパッケージ。

フリードのお客様には、子育てのために日常的な運転をはじめたという方が少なくありません。そうした方々の運転に対する不安を軽減し、ここに余裕をもって使えるクルマとすることがパッケージデザインのテーマでした。そのため、2モーターハイブリッドのe:HEVを採用しながら全長への

影響を最小限に留め、歴代フリード同等のあつかいやすさを追求。そのうえで、2列目席(後席)の快適性や荷室の使い勝手を向上させました。

■ディメンション:3列シート車 (AIR、CROSSTAR)



* () 内寸法は先代モデルとの差異 * 単位: mm * Honda 測定値 * 全高は FF 車

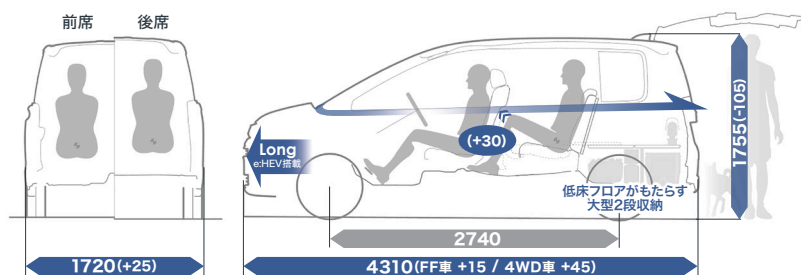
e:HEV搭載に伴う全長への影響を45mmに留め、あつかいやすいボディーサイズを維持。クロススターは新装備のホイールアーチプロテクターにより全幅を25mm拡大し、タフネス感を際立たせました。そのうえで、2列目席の膝まわり空間を30mm、3列目席の肩まわり空間を65mm(片側32.5mm)拡大。先代モデルを上回る快適空間を実現しました。

●荷室としての使い勝手進化



3列目シートは、座り心地を維持しながら薄型化と軽量化を実現。はね上げ位置を低く、かつ、ほぼ垂直とすることでシート間距離を約160mm拡大し、荷室としての使いやすさを高めました。

■ディメンション:2列シート車 (CROSSTAR)



* () 内寸法は先代モデルとの差異 * 単位: mm * Honda 測定値 * 全高は FF 車

クロススター2列シート車は、車内に大空間を創出する後席ダブルフォールドダウン機構や、上下2段に分割して使えるラゲジスペースなどをフリードプラスから継承。シーンに応じてさまざまな使い方ができる空間を実現しています。

●超低床フロアがもたらす使いやすさ



フリードプラスで実現した超低床フロアとともに、コンパクトミニバンとして最も低い開口部地上高と最も高い開口部高さ^{※1}を継承。重たい荷物も積み降ろしやすく、また、自転車など背の高い荷物も容易に積むことができます^{※2}。

※1 いずれもFF車 ※2 自転車の形状、サイズ等によっては積めない場合があります。

普段使いも休日のレジャーも、いきいき楽しめる多彩なシートアレンジ。

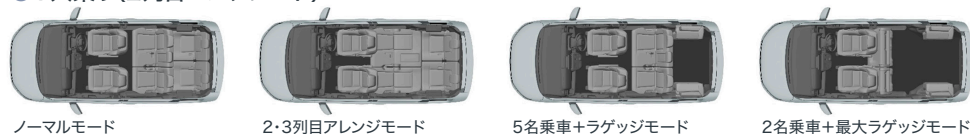
家族構成やシーンに応じて空間を自在に使えるシートアレンジは、コンパクトミニバンに求められる重要な機能。新型フリードでは、多彩なシートアレンジを踏襲したうえで操作のしやすさを徹底的に追求し、先代以上の使いやすさを実現しました。

■3列シート車（AIR、CROSSTAR）

●6人乗り（2列目キャプテンシート）

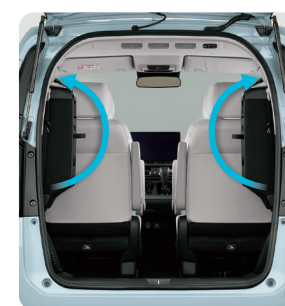


●7人乗り（2列目ベンチシート）



●簡単シートアレンジ

3列目シートの薄型化と軽量化により、先代モデルより小さなチカラではね上げ/戻し操作が可能。また、はね上げ時のシート上端位置を、小柄な方の目線よりも低い地上高1390mmとすることで、どなたでも安心して操作できるよう配慮しました。



■2列シート車（CROSSTAR）



●簡単シートアレンジ

後席の座面を前方にはね上げ、背もたれを前倒しするダブルフォールドダウン機構により、簡単操作で使いやすい大空間にアレンジできます。

ダブルフォールドダウン機構

①座面を前方にはね上げます



②背もたれを倒して収納します

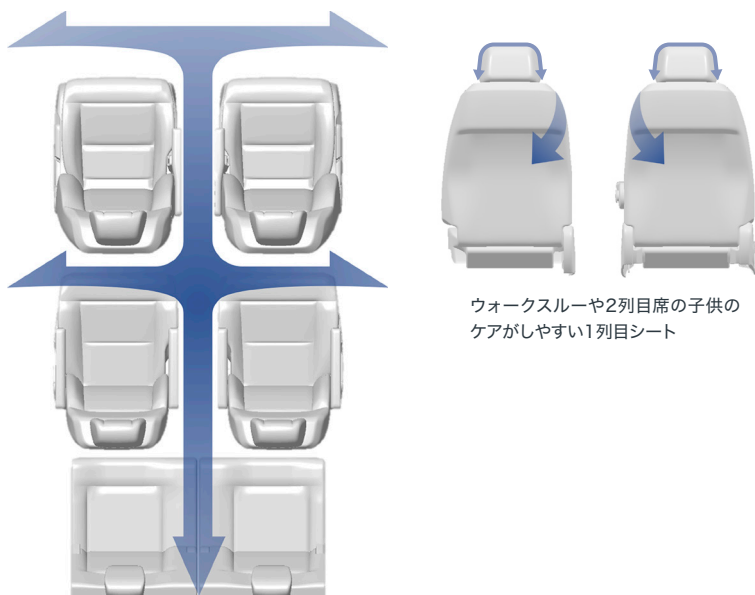


車内の移動やアクセス性・作業性に配慮した空間設計。

雨の日にも外に出ることなく車内を移動できるウォークスルーは、歴代フリードが大切にしてきた基本価値。なかでも6人乗り3列シート車は、1列目席から3列目席(荷室として使用する場合は荷室)まで自由に移動することが可能です。新型フリードでは、1列目シートと2列目シートの肩口と

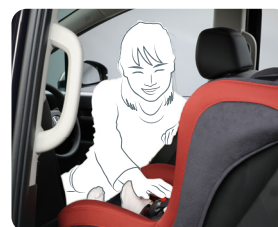
■全席フリーウォークスルー

シートスライドなどをせずにそのまま全席へアクセス可能。雨の日にも外に出ることなく車内を自由に移動できます。また、隣車との間隔が狭い駐車場では、全員がスライドドアから乗り降りでき、ドア当たりなどの心配がありません。



ヘッドレストを先代に対しシェイプアップすることで、ウォークスルー性や2列目席・3列目席へのアクセス性を高め、これまで以上に余裕の空間としました。

■2列目シートロングスライド



●運転席からの子供のケア

子供を座らせた2列目席を前方に設定すれば、運転席から近くシートの腕当たりも少ないため、簡単なケアなら運転席に座ったまま行えます。



●2列目席での子供のケア

2列目席を後方にスライドさせれば1列目席との間に余裕の空間が生まれ、チャイルドシートに座る子供のケアも容易に行えます。



●2列目席前空間の活用

2列目席を後方に設定すれば足元に余裕の空間が出現。スーパーマーケットなどで一般的な買い物カゴや、保育園で必要な荷物などが積載でき、荷室へ回り込む手間が省けます。

エクステリア



誰でもどこでも自由な気持ちであつかえる、懐の深さがわかるエクステリアデザイン。

フリードは、若い女性からアクティブシニアの男性まで多くのお客様に支持されています。エクステリアデザインの開発は、ライフステージもライフスタイルも異なる幅広い層に調和させながら、フリードらしさを際立たせることがテーマでした。そこで、過度なラインや加飾に頼るのではなく、

フリードの特長であり最大の魅力であるパッケージのよさにスポットをあて、誰でもどこでも自由な気持ちであつかえる、懐の深さが感じられるデザインをめざしました。

●さまざまなシーンに似合うシンプルデザイン

全体をシンプルな造形とノイズの少ないクリーンなサーフェイスで構成。上質で洗練された印象によって、誰にでも似合い、どんなシーンにも馴染むモダンなデザインをめざしました。そのうえで、ボディーサイドを大きく張りのある面で構成し、前後を貫く“芯”を感じさせることで構造体としての力強さを表現しました。



●家族を守る頼もしさを表現

フードとバンパーを硬質でボリュームのある表現とし、家族を守る頼もしさを表現しました。



●誇りを感じさせるフロントフェース

ヘッドライトやグリルをシャープなグラフィックとすることで凛とした表情を創出。親しみやすさを醸しながらも、オーナーとしての誇りが感じられるフロントフェースをめざしました。



●走りのよさや室内の広さを予感させるリアビュー

リアデザインは、安定感のあるボックスフォルムとシタンスのよさを強調。リアコンビネーションランプは先代モデルに対し低い位置に縦基調に配置しました。走りのよさや室内の広さがひと目でわかり、フリードのある豊かな暮らしを予感させます。



シンプルでありながらクオリティーの高さを感じさせる丁寧なつくり込み。

シンプルなデザインでは細部の表現がクルマ全体の印象に大きく影響します。新型フリードでは、機能部品の造形やキャラクターラインの1つひとつを細部まで丁寧に作り込んだうえで、それらの

つながりに連続性や一貫性を持たせ、シンプルでありながらクオリティーの高さを感じさせるモダンなデザインを完成させました。

●統一感や安定感を強める水平基調

ヘッドライトからキャラクターライン、そして、リアライセンスガーニッシュまでを連続感のある水平基調で構成し統一感や安定感を強調。優れたプレス技術によって描きだしたシャープなキャラクターラインによって硬質な印象を与えるとともに、工業製品としての質の高さを感じさせています。



●機能美と統一感を追求したホイール

ホイールは、シンプルでクリーンなエクステリアデザインを引き立てるために、幾何学的な放射状デザインを採用。回転体としての機能美を感じさせるとともに、ライト類と共通イメージのモチーフによって新型フリードの個性をさらに際立たせました。

●15インチスチールホイール +フルホイールキャップ

表面積の大きい円で塊感を演出しながら、リアコンビネーションランプ共通イメージの角丸四角形モチーフを配することで統一感を強めました。



●15インチアルミホイール

ペルリナブラック塗装をベースに、切削シルバーによってポジションランプと共通イメージのスポークを表現。太いシルバーを素直な放射状に配することで、力強い走りを予感させるとともに、シンプルでクリーンなエクステリアデザインを一層引き立たせています。



●伝わりやすさを追求したシンプルでアイコンニックなライトデザイン

ポジションランプ、テールランプなどの車幅灯や、ターンシグナルランプなどドライバーの意思を伝える信号灯は、混合交通のなかで情報を明快に伝えることを主眼に開発。機能部品としての形状・大きさ・角の丸みなどを徹底的に吟味しました。ジオメトリックな四角形を安心感のある角丸仕上げとすることで、信頼でき親しみやすさが感じられる、新型フリードならではの表情を創出しています。

●親しみやすさが感じられるポジションランプ

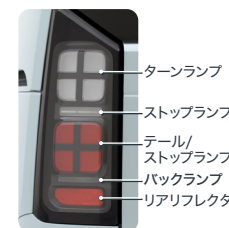
ポジションランプはデイトタイムランニングランプとターンランプの機能を兼ね備えたマルチファンクションとし、シンプルな角丸四角形とすることで、機能に裏付けられた信頼感と、暮らしのパートナーとしての親しみやすさを表現しました。



デイトタイムランニングランプ点灯時

●被視認性に配慮した リアコンビネーションランプ

リアコンビネーションランプは、シンプルで記号的な角丸四角形とすることで後続車からの被視認性に配慮するとともに、遊び心のあるアクセントとして親しみやすさを醸し出しています。



●上質でモダンなヘッドライト

ヘッドライトは上質でモダンな見え方を追求。ハウジングを黒基調とし、艶の有無やエンボス加工によって精緻な印象を創出しました。オプションで、ハイビームの照射範囲を自動でコントロールするアダプティブドライビングビームを装着できます。

標準仕様



ハイビーム/ロービーム
ポジションランプ/デイトタイムランニングランプ/ターンランプ

アダプティブドライビングビーム仕様(メーカーオプション)



アクティブコーナリングライト アダプティブドライビングビーム

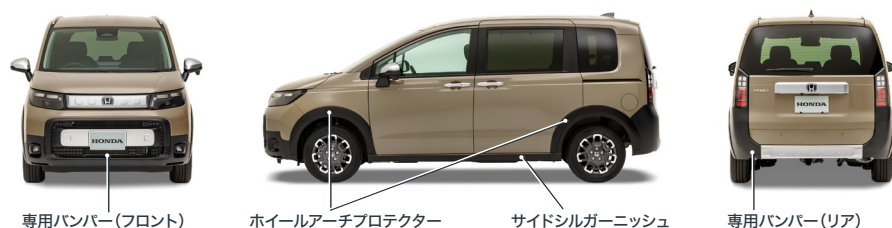
力強さを大胆に強調。好奇心を後押しするモダンでタフなエクステリアデザイン。

クロスターは、エアーでつくり上げたシンプルさや信頼感をベースに、力強さを大胆に強調。遊びの自由度を最大限に高めるツールとして、「知らない場所に行ってみたい」、「新しいことにチャレンジしたい」という好奇心を後押しするデザインをめざしました。ボディーの下まわり全周にわたって、

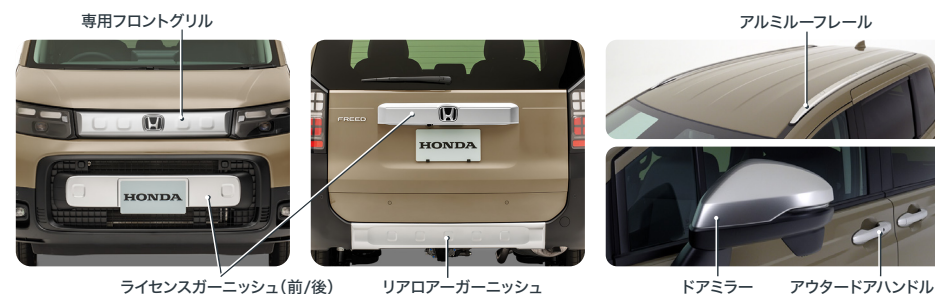
クロスター専用のブラックガーニッシュを採用。堅牢でモダンな印象の高輝度シルバーガーニッシュや専用アルミホイールなどとともに、汚れを気にせずどこへでも出かけたいような頼もしさを創出しています。



●頼もしさを演出するブラック表現



●堅牢でモダンな印象の高輝度シルバー表現



●CROSSTAR専用デザイン15インチアルミホイール

エアーと共通イメージの放射状デザインを採用。安定感のある角丸四角形をモチーフに、ブラックとシルバーのコントラストで表情を与え、洗練されたモダンな印象を創出しました。



●LEDフォグライト

濃霧時の視界確保などに有効なフォグライトを標準装備。機能とともにワイド感を高め、クロスターのタフネスイメージを一層強めました。



FREED AIR

全9色

クルマが主役になるのではなく、使う人をさりげなく彩るカラーを追求。年齢や性別を問わず、また、普段使いから休日のレジャーまで幅広いシーンにマッチする9色をラインアップしました。



FREED CROSSTAR

全8色

クロスターのアクティブイメージをさらに強調する新色デザートベージュ・パールを中心に、アウトドアシーンはもちろん、都市部や住宅街でも映えるカラーをラインアップしました。



インテリア



シンプルな構成と使いやすさでここに余裕をもたらす運転空間。

インテリアデザインの開発にあたって、ふと思い浮かんだのは「ひだまり」という言葉でした。みんながお互いを思いやり、やさしさと笑顔に満ちたあたたかな場所です。その実現に向け、乗員みんなのここに余裕をもたらすデザインを追求。運転席においては、視覚的ノイズの少ないシンプルな

構成を基本としながら、リビングルームをイメージした柔らかなファブリックや、使い勝手に優れた収納スペースなどによって、さまざまなタスクがストレスなくこなせる空間づくりを行いました。

● やすらぎを感じさせるファブリック(AIR)

インストルメントパネルに、柔らかなファブリックを大面積で配置。上質感や一体感を強め、リビングルームのようにやすらぎが感じられる環境を演出しました。



● 使いやすさを徹底追求した収納装備

● 置きやすく取り出しやすいインパネトレイ（助手席側）

インパネトレイは、奥側を深くすることで、加速時に小物が落ちにくい構造としました。表面には傷が目立ちにくいシボを施しています。



● 大容量インパネアッパーボックス

先代モデルでは運転席側に設置していたインパネアッパーボックスを、容量を拡大したうえで助手席側に移設。ボックスティッシュが取り出しやすい角度で収納できます。



● スマホトレイ&センターロアポケット

運転席からも助手席からも手の届きやすい位置にトレイとポケットを設けました。直上にUSBジャック(Type-A)を備え、スマートフォンなどを充電しながら置くことができます。



● ボトルホルダー付大型ドアポケット（運転席/助手席）

運転席側と助手席側のドアに、出し入れしやすいボトルホルダー付大型ドアポケットを備えました。一般的なサイズの折り畳み傘が収納できる前後長を確保しています。



● ドリンクホルダー（運転席/助手席）

手の届きやすいインストルメントパネル左右に安定感の高いドリンクホルダーを設けたほか、助手席側に収納式ドリンクホルダーも装備しました。運転席側は、Hondaスマートキーなどの小物が置けるポケットも備えています。



シンプルな構成に加え、優れた視認性と操作性で運転時の安心感を向上。

運転時に視界的なノイズとなる要素を排除するとともに、メーターやスイッチ類の視認性・操作性を考え抜いてデザイン。自然な視線移動と動作でストレスなく運転できるよう配慮しました。

● 必要な情報をわかりやすく表示する7インチTFT液晶メーター

すべての情報を液晶パネルで表示する7インチTFT液晶メーターを採用。必要最小限の情報を絞り込んだ「シンプル表示」を基本とすることで、見やすくわかりやすいメーターを実現しました。多彩な情報から必要な情報を選択して表示できる「インフォメーション表示」に、ステアリングスイッチで簡単に切り替えできます。

● シンプル表示

速度や現在時刻など、運転と行動に必要な最小限の情報を表示。画面の自車は実際の車両と連動してランプ類が点灯し、Honda SENSINGによるブレーキ作動なども確認できます。



● インフォメーション表示

オドメーター、タコメーター（ガソリン車）を常時表示するほか、平均车速、燃費（平均/瞬間）、推定航続可能距離などから、必要な情報を選択して表示できます。

● 直感的に操作できるステアリングスイッチ

左側にインフォテイメント系、右側に運転支援系を配置。また、左側にコンテンツ切り替え用のセレクトホイールを採用し、スピーディーな操作を可能にしました。



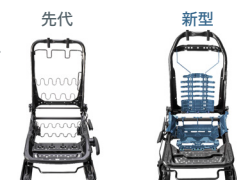
● 操作しやすいスイッチレイアウト

運転中の操作が必要なスイッチをセンターパネルに集約し、わかりやすくゾーニングしました。運転に関するスイッチは運転席に近い右側に、エアコンスイッチは助手席からも操作しやすい左側に配置。新装備のリアクーラーの操作も行えます。



● ホールド性と快適性を両立させたフロントシート

フロントシートに、「疲れにくさ」の研究から生まれたボディースタビライジングシートを採用。骨盤から腰椎まで体圧を面で受け止める構造により、優れたホールド性と快適な座り心地を提供します。



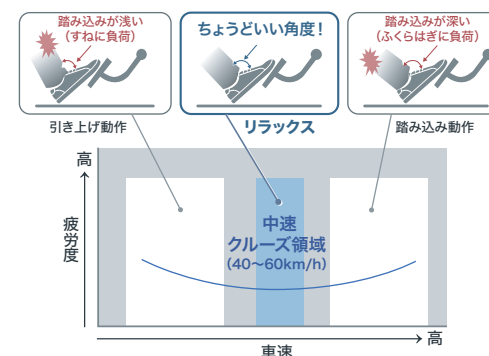
● 水平基調に調和するステアリングホイール

2本スポークタイプのステアリングホイールを採用。水平基調を引き立てるとともに、足元の視覚的な広さ感を高めました。また、人間工学の知見に基づき運転しやすい断面形状を追求。手の小さな方でも握りやすく操作のしやすいステアリングホイールとしています。



● あつかいやすく疲れにくいアクセルペダル

幹線道路や市街地などで定速走行する際、足首がもっともラクになるようアクセルペダルを設定しました。一定の速度を維持するとき、踏み込みが浅いと常に爪先を上げる必要があり、すね側の筋肉に負担がかかります。反対に、踏み込みが深い場合、ふくらはぎ側の筋肉が疲れやすくなります。新型フリードでは、日常ユースで多用する中速域で足首角度が約90度となるようアクセル開度と反力をバランスさせ、リラックスした状態で走行できるよう設定しました。



狭い道や縦列駐車でも自信を持って運転できる車両感覚のつかみやすさ。

開発初期のユーザーインタビューでは、子育て層の女性など運転に不安を感じるお客様が多くいらっしゃることがわかりました。新型フリードでは、歴代の特長である見渡しのよさに加え、水平で

ノイズレスな前方視界やフロントタイヤの位置をイメージしやすくする工夫などによって車両感覚をつかみやすくし、運転に不慣れな方でも自信を持ってハンドルを握れるよう配慮しました。

● 車両感覚が把握しやすい水平基調

インホイールメーターの採用などにより、水平でノイズレスなダッシュボードを実現。車両感覚や自車の向きを把握しやすくしました。



● 車幅がイメージしやすいフロントピラー配置

人間工学の研究から、フロントタイヤの内側面位置をイメージすることが車幅の把握に有効であるという知見を獲得。フロントピラーの付け根を、タイヤ内側面の真上となるようデザインすることでタイヤ位置をイメージしやすくしました。狭い道でのすれ違い時や縦列駐車の際に車幅が把握しやすく、安心して運転できます。



↓ タイヤ内側面

● ななめ前方視界の向上

フロントピラーの1本化とスキンマウントドアミラーの採用により、フロントピラーとドアミラーの間の空間を拡大しました。視線移動がスムーズで車両感覚がつかみやすく、また、交差点右左折時に歩行者が認識しやすいため安心して運転できます。



車両感覚がつかみやすい



歩行者が認識しやすい

乗員全員が快適に過ごせる、明るく開放的な居住空間。

休日の長距離ドライブでも乗員全員が快適に過ごせるよう、無意識レベルでの視覚効果にまで踏み込んで居心地のよさを追求。2列目席や3列目席の視界を向上させ、どの席でも景色が楽しめる、明るく開放的な居住空間を実現しました。

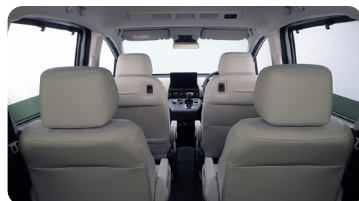
● 快適に過ごせる2列目席・3列目席視界

1列目シートと2列目シート（キャプテンシート）のショルダー部とヘッドレストを、先代モデルに対しボリュームを抑え、2列目席・3列目席の前方視界を拡大。また、ベルトラインを水平基調とし景色の流れを水平かつ連続的に見せることで、爽やかな側方視界も実現しました。3列目席は、リアクォーターウィンドウの拡大により開放感を大幅に向上。ヒップポイントが1列目席から3列目席へ向けて徐々に高くなるエレベーションの効果とあいまって、どの席でも景色が楽しめる、明るく開放的な空間を実現しています。

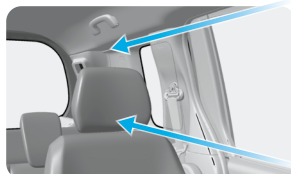
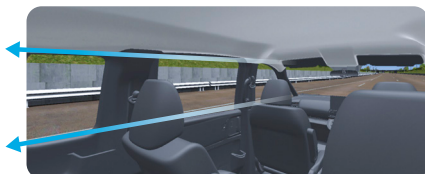
2列目席からの視界イメージ



3列目席からの視界イメージ



連続感のある側方視界



● 開放感を高めた3列目席

大人が快適に座れる3列目席はフリードが守り続ける大切な価値です。新型フリードでは、リアクォーターウィンドウを先代モデルの三角基調から四角基調に変更し面積を大幅に拡大。1列目席・2列目席と同様、明るく開放的な3列目席としました。

先代



新型



● USBチャージャー（タイプ別設定）

運転席と助手席のシートバック上部にUSBチャージャー（Type-C）を設定しました。2列目席で2名が同時充電する場合も、ケーブルがすっきりと取り回しでき、ワークスルーを阻害しません。



● ボトルホルダー／ドリンクホルダー

2列目席用としてスライドドアにボトルホルダーを、3列目席用としてリアクォーターウィンドウ下にドリンクホルダーを備えました。いずれも手の届きやすい位置としています。



スライドドア・ボトルホルダー（両側）



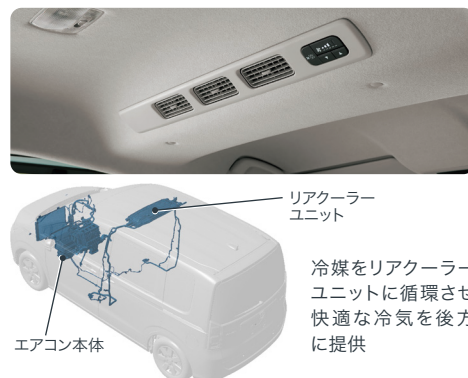
ドリンクホルダー（3列目左右）

みんなにこころの余裕をもたらす快適装備。

忙しい毎日でも、休日のレジャーで渋滞に遭遇しても、みんなが笑顔を曇らせないよう、快適装備を充実させました。明るく開放的な空間デザインに加え、リアクーラーを初めとする空調システムが全席にかつてない心地よさをもたらします。

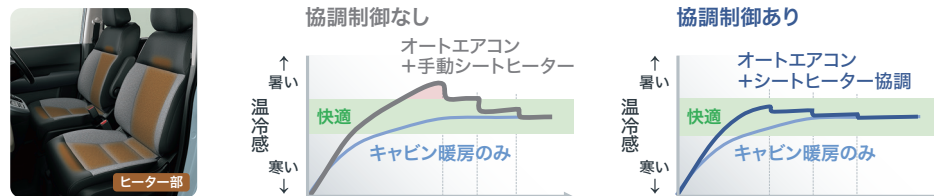
●クラス初※1リアクーラー

コンパクトミニバンとして初めてリアクーラーを設定しました。リアクーラーユニットを循環する冷媒によって直接冷やした空気を、エアアウトレットから後方へ効率よく提供し、夏場の快適性を向上させます。コントロールスイッチをルーフとセンターパネルに備え、2列目席と1列目席の両方から操作ができます。「Honda リモート操作」によりユーザーのスマートフォンからも作動可能※2。乗車する少し前からエアコンをつけておけば、乗った瞬間から車内は快適です。



●クラス初※1エアコン連動型シートヒーター

寒冷時、エアコンの「AUTO」スイッチを押すだけで、暖房とともにシートヒーターが作動※3するエアコン連動型シートヒーターを、コンパクトミニバンとして初めて採用しました。協調制御により、車内温度、外気温、日射量などから適切なヒーター強度を判定し自動で調整。手動操作の手間を減らすとともに効率的な暖房を実現します。



●大型化したロールサンシェード

スライドドアウィンドウのロールサンシェードを、先代モデルに対し大型化し遮光性を向上させました。リアクーラーと合わせ、より快適な2列目席としています。



●乗り降りらくらくアシストグリップ & センターピラー

先代モデルから大型のアシストグリップを継承。さらに、センターピラー下部を子供でも手がかけやすい形状とすることで乗り降りをしやすくしました。センターピラーは、3歳児と6歳児の身長や手の大きさなどを調査し、子供の目にとまりやすい高さで指をかけやすい断面形状としています。



※1 コンパクトミニバンクラス(主要グレードが5ナンバーサイズ、エンジン排気量1000~1500ccのミニバン)

※2 「Honda Total Care」へのご加入、および「Honda Total Care プレミアム」へお申し込ただけでご利用いただけます。「Honda リモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。

※3 一定の冷感条件で作動します。

アウトドアレジャーでの楽しさを広げる、遊びどころいっぱいの荷室。

クロススターは、好奇心を後押しする力強いエクステリアデザインに加え、2列シート車の荷室に、アウトドアレジャーでの楽しさを広げるさまざまなアイデア装備を採用。遊びの目的やシーンに合わせて自由自在に使うことができます。

● クラストップレベル※1の広大な荷室

フリードプラスで実現した、低くフラットなフロアがもたらす広大な荷室を継承しました。後席をダブルフォールドダウンしたビッグラゲッジモードでは26インチ自転車※2が2台積載可能※2。車中泊では、大人2人がゆったりとくつろげるスペースを提供します。テールゲート開口部は、クラストップ※1の高さと低さを誇り、背の高い荷物や重たい荷物も容易に積み降ろしできます。



開口部高さ
1260mm
開口部最大幅
1080mm
開口部地上高
335mm

超低床フロアを活かした2段収納と大開口

FREED CROSSTAR 2列シート車(FF)

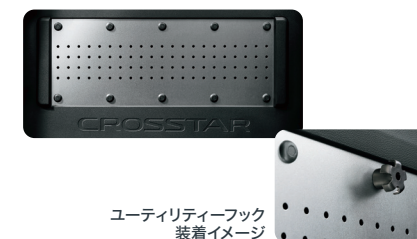
● 広大な荷室を2段に分割して利用可能

荷室用ユーティリティボードを装着すれば、広大な荷室を2段に分割して利用できます。ボードはフェルト面とプラスチック面のリバーシブルで、濡れ物や汚れ物を積む際にプラスチック面を上にするれば、水や汚れを容易に拭き取ることができます。



● 荷室の壁面を有効活用できる ユーティリティサイドパネル

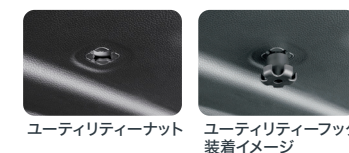
棚やフックを取り付けて壁面を有効活用できるユーティリティサイドパネルを装備しました。傷がつきにくいステンレス製とし、有孔ボードとして一般的な穴径6.0mm・25mmピッチを採用。さらに、上下10箇所ユーティリティナットを内蔵しました。マグネット式と差し込み式の両方に対応し、市販の豊富なツールを自由に取り付けることが可能。荷室の使い勝手を大きく高めます。



ユーティリティフック
装着イメージ

● 使い方自由自在のユーティリティナット (テールゲート)

テールゲートの室内側6箇所ユーティリティナットを設けました。市販のフックやバーなどを取り付けることができ、キャンプなどでLEDランタンを吊したり、衣類や靴を干したりするのに便利です。



ユーティリティナット

ユーティリティフック
装着イメージ



使用イメージ

● 夜間に便利なテールゲートランプ

テールゲートオープン時に下方を照らすランプを標準装備しました。夜間の荷物の積み降ろしなどに便利です。



※1 コンパクトミニバンクラス(主要グレードが5ナンバーサイズ、エンジン排気量1000～1500ccのミニバン)

※2 自転車の形状、サイズ等によっては積めない場合があります。

AIRとCROSSTARそれぞれの個性をより際立たせるコーディネート。

インテリアコーディネートは、「安心感とあつかいやすさ」をキーワードに、汚れにくく、汚れても目立ちにくい素材で構成。そのうえで、エアークロスターそれぞれの個性をより際立たせるカラーとしました。

●FREED AIR

ゆったりくつろげるリビングライクな空間をめざし、肌にやさしく汚れにくいファブリックを採用。カラーはグレイージュを中心に、EX専用色としてシックなブラックを設定しました。

●汚れが目立ちにくいグレイージュインテリア

明るいグレイージュを基本としながら、子供が触れやすいシートメイン部を濃いグレイージュとすることで汚れを目立ちにくくしました。これまで汚れを気にして明るいカラーを躊躇していた方にも安心して選んでいただけます。EXはプライムスムーズとファブリックのコンビシートです。



●精悍かつ上質感のあるブラックインテリア

EX専用色としてブラックを設定しました。



●FREED CROSSTAR

「アウトドアライクなアクティブスタイル」をテーマに、アウトドア用品と共通イメージの素材を採用し、力強いブラックとカーキで構成。優れた防汚性と合わせ、アウトドアレジャーで使いやすいコーディネートとしました。

●力強さと上質感のブラック×カーキインテリア

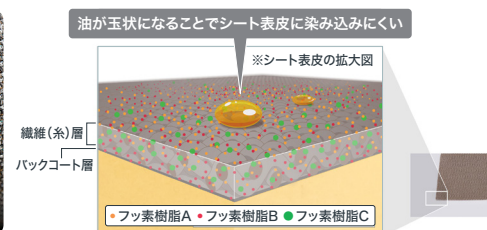
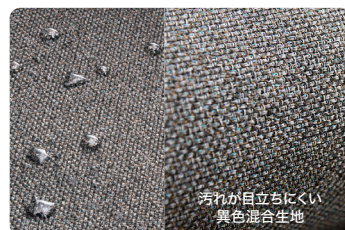
ブラックを基調に力強さを演出。インストルメントパネルにはカーキのプライムスムーズを施し上質感のあるコーディネートとしました。



●FREED AIR/CROSSTAR共通

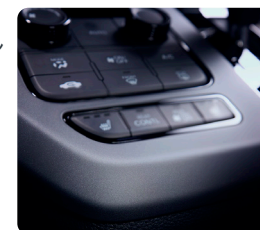
●優れた撥水性・撥油性を発揮するファブテクト加工

シートメイン部のファブリックと、AIRのインストルメントパネルに、水を弾くだけでなく、食べ物などの油分も弾いて拭き取りやすくなる、Honda独自のファブテクト加工を採用しました。表面の繊維層に施したフッ素樹脂が水や油を玉状に浮かせ、拭き取りを容易にします。バックコート層にもフッ素樹脂加工を施し、ウレタン層へ染み込みにくくすることで、臭いの原因が残りにくい構造としています。



●防汚性に優れたソフトフィールセンターパネル (AIR EX/CROSSTAR)

エアークロスターのセンターパネルに防汚性を付与したソフトフィール塗装を採用。しっとりとした触感と汚れにくさを両立させています。



ダイナミック性能



あつかいやすさと穏やかな乗り心地。ここに余裕をもたらす、やさしいダイナミック性能。

ダイナミック性能がめざしたものは、乗る人みんなのところに余裕をもたらすやさしい走りでした。ドライバーの意思に忠実でありながら唐突感のない駆動特性やハンドリング応答性。荒れた路面や段差に遭遇しても、同乗者を不快にさせない穏やかな乗り心地。これらを目標に、

2モーターハイブリッドシステム「e:HEV」やリアルタイムAWDなど、Hondaが誇る独創の技術を実験フィールドに最適化して採用。市街地から高速道路まであらゆるシーンを笑顔で満たすやさしいダイナミック性能を追求しました。

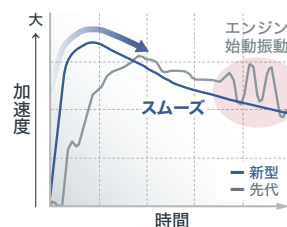
●コントローラブルな駆動力設定

ドライバーの意思に忠実に応える、コントローラブルな駆動特性を追求。e:HEV車、ガソリン車それぞれの長を生かしながら、アクセル開度に対する駆動力を適切に設定することで、過度な押し出し感やぎくしゃく感のない、あつかいやすい特性を実現しました。

●駆動力設定例(住宅地・市街地)

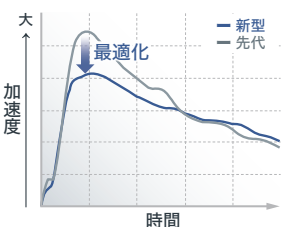
e:HEV車

2モーターハイブリッドシステム「e:HEV」のもたらす大きな初期駆動力と無段階変速のなめらかさを新型フリードに最適化。



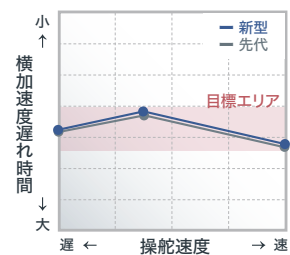
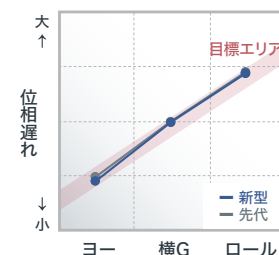
ガソリン車

アクセル低開度での初期駆動力を先代モデルに対し低減し、唐突感のないコントローラブルな発進特性を実現。



●安心感の高いハンドリング特性

住宅街など低速走行での取り回し性、幹線道路や高速道路でのライントレース性を中心に、ドライバーの意志に忠実なハンドリング特性を追求。ボディー剛性バランスの適正化やサスペンションのフリクション低減などにより、操舵に対し車両がスムーズに向きを変える、素直で安心感の高いハンドリング特性を実現しました。



●快適で疲れにくい、穏やかな乗り心地

サスペンションのフリクション低減などにより、荒れた路面を走行する際や段差を乗り越える際の不快な振動を、先代モデルに対して大幅に抑制。e:HEV車はエンジンマウントの性能も向上させました。これらにより、ドライバーはもちろん、同乗するみんなが快適に過ごせる穏やかな乗り心地を実現しました。

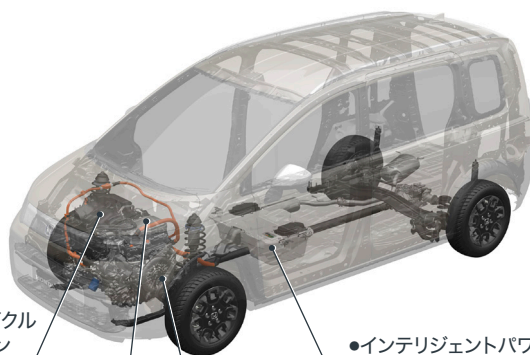


ドライブに余裕と笑顔をもたらすハイブリッドシステム「e:HEV」。

運転する人や同乗する人はもちろんのこと、同じ道を使う周囲の人々にも安心をもたらし、さらには地球環境にもやさしいクルマとなるよう、Honda独創の2モーターハイブリッドシステム「e:HEV」を、フリードとしてはじめて採用。ドライブに余裕と笑顔をもたらします。

●システム構成

e:HEVは、エンジンで発電しモーターで走行するシリーズハイブリッド方式を基本に、バッテリー電力のみで電気自動車として走行する「EVモード」や、エンジンとタイヤを直結しガソリン車として走行する「エンジンモード」を備えた画期的な2モーターハイブリッドシステムです。先代モデルの搭載した「Sport Hybrid i-DCD」とは異なり、日常シーンのほとんどをモーターで走行するうえ、走行用モーター自体が無段変速機として機能するため、変速ショックのないなめらかな加速特性を発揮します。



*イラストは4WD車

●1.5L アトキンソンサイクルDOHC i-VTECエンジン

●インテリジェントパワーユニット (IPU)

●パワーコントロールユニット (PCU)

●2モーター内蔵電気式CVT

燃料消費率 (国土交通省審査値) ※1

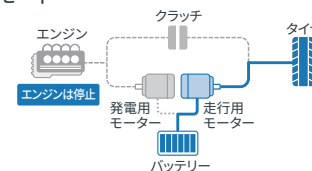
WLTCモード ※2 **25.6km/L**
e:HEV AIR・FF
市街地モード (WLTC-L) ※2 25.9km/L
郊外モード (WLTC-M) ※2 27.8km/L
高速道路モード (WLTC-H) ※2 24.2km/L

エンジン	最高出力	78kW [106PS] / 6,000-6,400rpm
	最大トルク	127N・m [13.0kgf・m] / 4,500-5,000rpm
走行用モーター	最高出力	90kW [123PS] / 3,500-8,000rpm
	最大トルク	253N・m [25.8kgf・m] / 0-3,000rpm

●代表的な走行モード

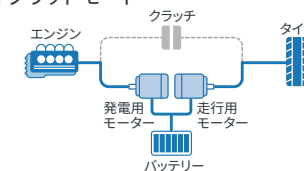
e:HEVは、日常シーンのほとんどをモーターで走行し、モーターよりもエンジンのほうが効率がよい高速クルーズなどはエンジンで走行します。さまざまなモードをシーンに合わせて使い分けることで高効率な走行を実現します。

●EVモード



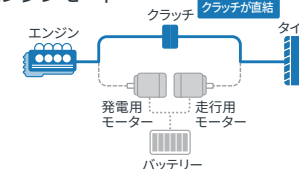
バッテリーに蓄えられた電力のみで走行用モーターを駆動。ガソリンを使わずに電気自動車として走行します。

●ハイブリッドモード



エンジンの力で発電した電力で走行用モーターを駆動。加速時にはバッテリーからの電力を合わせて走行用モーターで走り、よりパワフルな加速を提供します。

●エンジンモード



高速クルーズなど、モーターよりもエンジンで走行したほうが効率がよい場合、クラッチによってエンジン出力軸とタイヤ駆動軸を直結し、ガソリンエンジン車として低燃費走行します。

※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境 (気象、渋滞等) や運転方法 (急発進、エアコン使用等) に応じて燃料消費率は異なります。

※2 WLTCモード: 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード: 信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード: 信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード: 高速道路等での走行を想定。

Hondaが培ってきたエンジン技術と電動化技術を革新のテクノロジーで融合。

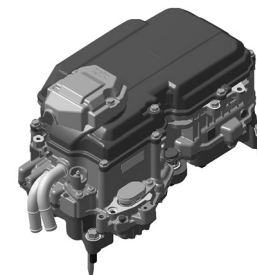
● 1.5L アトキンソンサイクル DOHC i-VTEC エンジン

熱効率に優れたアトキンソンサイクルに加え、VTEC※1と電動VTC※2による高精度バルブコントロールにより走行状況に最適な燃焼を実現。先代ハイブリッド車のエンジンに対し、燃焼の高速化やフリクションの低減によって最大熱効率を40%以上に引き上げ、走りと燃費をより高い次元で両立させました。エンジン放射音や始動時振動の低減により優れた静粛性も実現。



● パワーコントロールユニット(PCU)

電流を直流から交流へ変換するパワードライブユニット(PDU)や、電圧を走行用モーターの要求電圧に昇圧するボルテージコントロールユニット(VCU)などにより2つのモーターをコントロールします。小型化と高効率化の徹底によりエンジンルームへの搭載を実現しました。



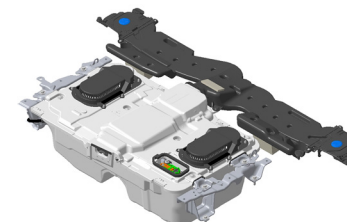
● 2モーター内蔵電気式CVT

発電用と走行用の2つのモーターとエンジン直結クラッチを搭載。発電用モーターは、エンジン出力を効率よく電気エネルギーに変換し、タイヤの駆動やバッテリーへの蓄電を行います。走行用モーターは、2.4L自然吸気エンジンを上回る大トルク※3を発生させ、アクセルオンの瞬間から力強くなめらかな走りを提供。



● インテリジェントパワーユニット(IPU)

リチウムイオンバッテリー、制御用ECU、冷却ファンなどを集約した電源ユニットです。Hondaが長年の電動車開発で培ったノウハウを生かし、バッテリーの耐用年数を考慮したうえで通常時の使用領域を拡大。EVモードのレンジ拡大や減速回生の効率化などにより実用燃費を向上させました。



※1 「Variable valve Timing and lift Electronic Control system」の略。可変バルブタイミング・リフト機構。

※2 「Variable Timing Control」の略。連続可変バルブタイミング・コントロール機構。

※3 HondaのL4 2.4L自然吸気エンジンとの比較。Honda調べ。

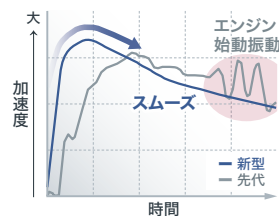
運転する人にはあつかいやすさを、同乗する人には安心感を。

●コントロールラブルな駆動力設定

モーターはアクセルオンの直後から最大トルクを発揮できるため、e:HEV車に強力な加速性能を与えることも可能です。しかし新型フリードでは、運転する人にも同乗する人にも余裕をもたらす懐の深い走りを追求。力強さを感じさせながらも、乗る人みんなが安心できる、穏やかでスムーズな駆動特性を実現しました。

●住宅地・市街地（発進～低速域）

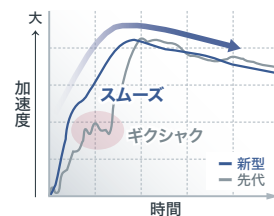
モーターならではの力強い初期駆動力に加え、無段階変速の特長を生かして駆動力を設定。EVモードからハイブリッドモードへの移行時に発生するエンジン振動も抑制し、なめらかで伸びのある走りを実現しました。



0～20km/hからの
アクセル開度20%加速による比較

●郊外・幹線道路（中速域）

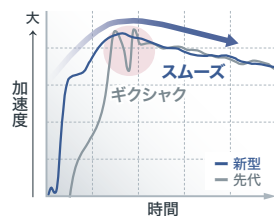
モーター駆動のなめらかなトルク特性と応答性を生かして駆動力を設定。郊外路での微妙な加減速も安心して行えるコントロールラブルな駆動特性を備えました。



40～60km/hからの
アクセル開度50%加速による比較

●高速道路（高速域）

高速道路への合流時や追い越し時の加速では、高出力・大トルクの走行用モーターが力強く伸びのある加速を提供。トルク変動もなく狙い通りの加速が行えます。

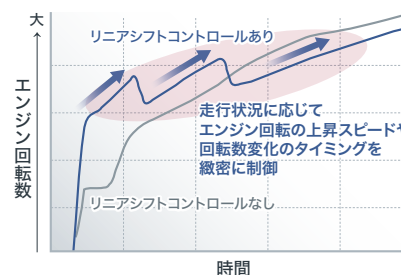


80～100km/hからの
アクセル開度50%加速による比較

●あつかいやすさと走りの楽しさをひろげる制御技術

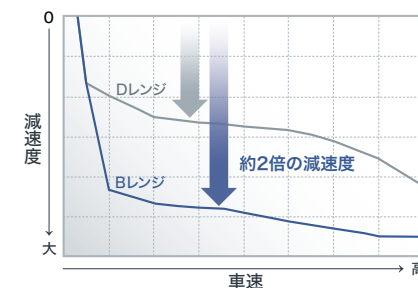
●リアシフトコントロール

車速の伸びと連動してエンジン回転数を段階的に制御。有段トランスミッションのようなリズムカルなエンジン回転数の変化とエンジン音で加速との一体感のある走りを提供します。



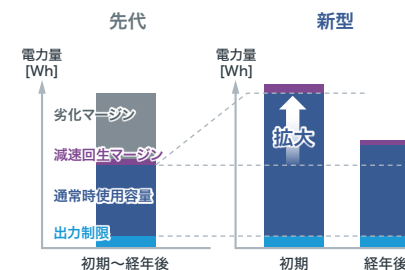
●Bレンジ

アクセルオフ時にDレンジよりも高い減速度が得られるBレンジを、フリードとして初めて採用。長い下り坂でもアクセルペダルを戻すだけで高い減速度が得られ、安心感のある下り坂走行を支援します。また、上り坂と下り坂が連続するワインディング路などでは、ブレーキ操作の必要頻度を減らし、運転負荷の軽減に貢献します。



●バッテリー使用領域拡大による実用燃費の向上

Hondaが、長年の電動車開発で培ったノウハウを生かし、バッテリーの耐用年数を考慮したうえで使用領域を拡大。より多くの電力を出し入れ可能となりました。EVモードの走行レンジ拡大や、回生電力の蓄電増大などにより実用燃費の向上に貢献するうえ、幅広いシーンでトルクフルかつ一貫性のある加速を提供します。



走りと燃費を高次元で両立させたハイバランスパワートレイン。

ガソリン車は、あつかいやすさと静粛性に優れたパワートレインを追求。先代モデルの直噴エンジンに対し、静粛性に優れたポート噴射エンジンを採用し、無段階変速機CVTと組み合わせました。

燃料消費率 (国土交通省審査値)※1

WLTC ※2	16.5km/L
AIR・FF	
市街地モード (WLTC-L)※2	12.1km/L
郊外モード (WLTC-M)※2	17.4km/L
高速道路モード (WLTC-H)※2	18.8km/L

エンジン	最高出力	87kW [118PS] / 6,600rpm
	最大トルク	142N・m [14.5kgf・m] / 4,300rpm

● 1.5L DOHC i-VTECエンジン

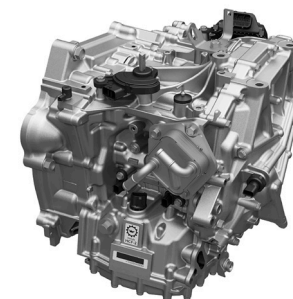
ヴェゼルのガソリン車と同型の自然吸気エンジンを新型フリードに最適化して採用しました。VTCが走行状況に応じて吸気バルブを最適に制御し、なめらかなトルク特性と優れた燃費性能を提供します。静粛性に有利なポート噴射エンジンであるうえ、新型フリードでは新設計のインテークダクトとレゾネーターにより優れた吸気脈動効果を獲得。静粛性をさらに向上させました。



1.5L DOHC i-VTECエンジン(ポート噴射)

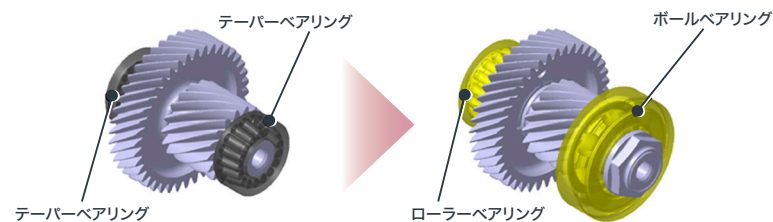
● CVT

力強い加速性能と優れた燃費性能を両立させた新世代CVTを、新型フリードに最適化して採用しました。先代ガソリン車のCVTに対し、出力軸支持のベアリングを変更しフリクションを低減することで伝達効率を向上。ローレシオ設定により、多人数乗車時にもスムーズな加速を提供するCVTとしました。



CVT

出力軸支持のベアリングの変更



※1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 ※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。

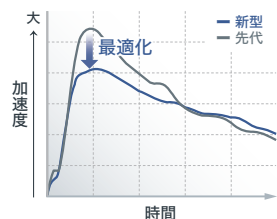
あつかいやすさに加え、操る楽しさと安心感を追求した高精度制御。

●コントローラブルな駆動力設定

ガソリン車においても、コントローラブルで安心感のある走りを追求。アクセル開度に対する駆動力を先代モデルに対し穏やかな設定としたうえで、駆動力の過度な増減を抑制し、雑味のないなめらかな走りを実現しました。

●住宅地・市街地(発進～低速域)

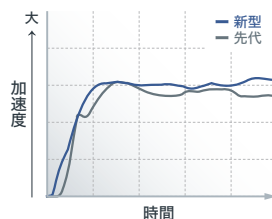
アクセル低開度での初期駆動力を先代モデルに対し低く設定することで、過度な押し出し感やぎくしゃく感のない、コントローラブルな発進性能を実現しました。



0～20km/hからの
アクセル開度20%加速による比較

●郊外・幹線道路(中速域)

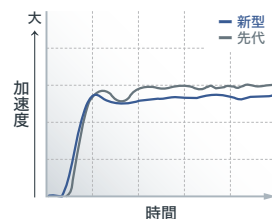
アクセル中間開度の駆動力は先代モデル同等に設定。データ設定の最適化などにより駆動力の増減を抑制し、よりなめらかな走りを実現しました。



40～60km/hからの
アクセル開度50%加速による比較

●高速道路(高速域)

高速域の駆動力は先代モデル同等に設定。高速道路への合流時や追い越し時に力強く伸びのある加速を提供します。



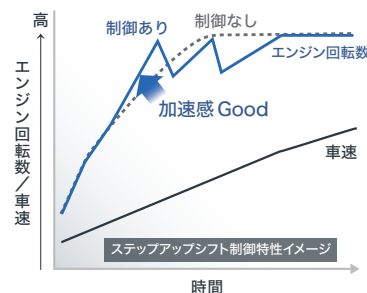
80～100km/hからの
アクセル開度50%加速による比較

●加速時の爽快感と減速時の安心感を高める変速制御

有段トランスミッションのような変速で走りを支援する制御技術を新型フリードに最適化して採用。加速時の爽快感や減速時の安心感を高めるとともに、状況に応じてエンジン回転数を適切に保つことでスムーズな運転を支援します。

●全開加速ステップアップシフト制御

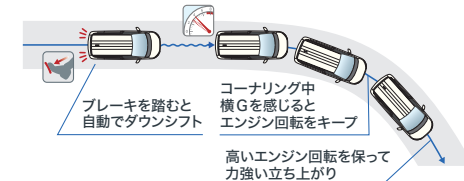
通常走行では無段階変速機のスムーズな加速を提供しながら、アクセル全開などで強い加速を行う場合、CVTレシオとエンジン回転数を段階的に制御することで有段トランスミッションのような変速を実現。リズミカルな加速感と、エンジン回転数や音の変化が一体となった爽快感の走りをもたらします。



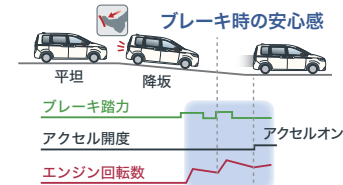
●ブレーキ操作ステップダウンシフト制御

一定以上強くブレーキを踏み込んだ際、CVTレシオを低く制御しエンジン回転数を高く保ちながら段階的にダウンシフトし、エンジンブレーキによる制動力を確保。下り坂などでの安心感を高めます。コーナリング中は横Gを判断してエンジン回転数を高く保ち、コーナー立ち上がりでのスムーズな加速を支援します。

●ワインディング レスポンスのよい走りを実現



●下り坂 スムーズな減速で安心感を向上



雪道など滑りやすい路面で、スムーズかつ安心感のある走りを支援するリアルタイムAWD。

電子制御で後輪の駆動力を緻密かつ素早くコントロールするリアルタイムAWDをe:HEV車／ガソリン車ともに設定しました。各種センサーにより走行状況を検知し、前輪が空転する前に後輪へ駆動力を伝達。さらに、前後輪の駆動力配分を緻密に行うことで、雪道での発進やコーナリング、

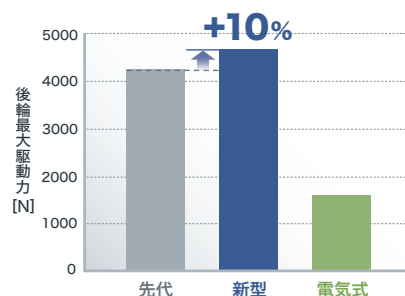
登坂などで優れた走破性を実現します。新型フリードでは、後輪配分トルクを先代モデルに対し10%高めたうえ、新たに高応答リニア制御を採用。走行状況により適した駆動力配分を行い、雪道での走破性と安心感を向上させました。

●リアルタイムAWDの特長

●力強い後輪駆動力

リアルタイムAWDは、e:HEVやエンジンの大きなトルクを、プロペラシャフトを介して最大50%を目安に後輪へ配分します。コンパクトクラスで一般的な電気式AWDに対し2～3倍の後輪駆動力を発揮し、雪上登坂、雪上旋回、雪上高速道路などで優れた走破性を実現します。

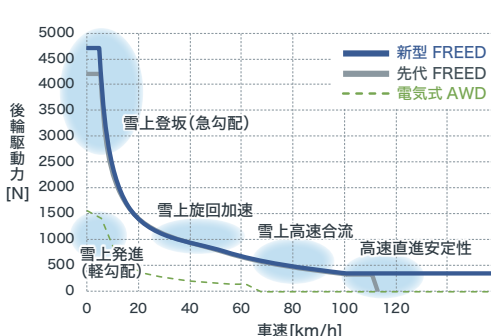
後輪最大駆動力比較グラフ



●電子制御による緻密な前後駆動力配分制御

リアルタイムAWDは、四輪駆動を基本に、ステアリング舵角やスロットル開度など、各種センサーの情報から車両状況を正確に把握し、先手を打つように前後の駆動力配分をきめ細かく調節します。これに加え、後輪への駆動力配分量をなめらかに増減させる高応答リニア制御を採用し、さらに、VSAやアジャイルハンドリングアシストとの緻密な協調制御を実行。雪上登坂から高速クルーズまでさまざまな路面で、先代モデル以上に安心感のある走りを実現しました。

AWD性能比較グラフ



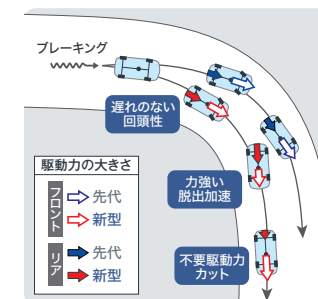
●制御イメージ

●雪上コーナリング

コーナー進入時
コーナー手前でアクセルペダルをオフにすると、後輪への機械的なつながりを解放しFF車として走行。車両が外にふくむアンダーステアを抑制し、ドライバーが思い描いたラインをトレースできるよう支援します。

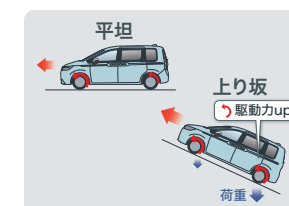
●旋回加速時

減速から加速に転じると、瞬時に理想的な前後駆動力配分を算出し、最適な駆動力を後輪に伝達。前輪の駆動負担を低減することで旋回能力を高めるとともに、ニュートラルステアとなるよう前後駆動力を制御し、安心感の高いコーナリングを支援します。



●雪上発進

雪道平坦路では、前後重量配分に合わせた駆動力配分(60:40)で発進。雪道登坂路で発進する場合、Gセンサーからの情報をもとに上り勾配を判断し、予測制御によって後輪への駆動力配分を増大。アクセルペダルを踏んだ瞬間から最適な前後駆動力配分で発進します。



●わだち路面も安心のハイロードクリアランス

ロードクリアランスは、FF車に対し15mm高い150mmに設定。アプローチアングルとデパーチャーアングルもFF車に対して拡大しました。除雪前のわだち路や未舗装路などでも車体底面が接触しにくく、安心感の高い走りを提供します。



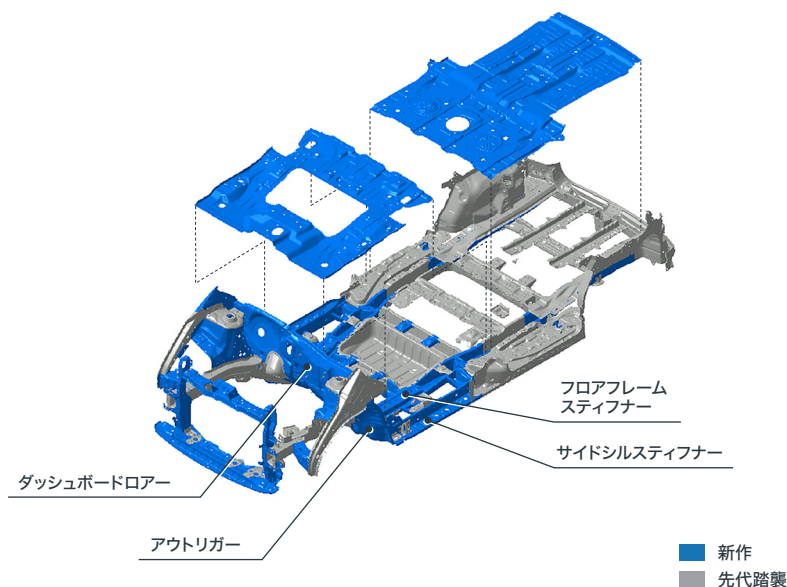
安心・快適を追求し熟成を極めた高効率ボディー。

暮らしに寄り添うデイリーカーだからこそ、あらゆる不安から解放させたい。そうした志を胸に、衝突安全性能のさらなる向上や車両挙動の安定化に寄与するボディーを追求しました。先代モデルで

実績を築いたマルチシェル骨格*をベースに効率的な補強を行うことで、燃費性能を悪化させる重量増を最小限に抑制。安心・快適な走りを支える高効率ボディーを完成させました。

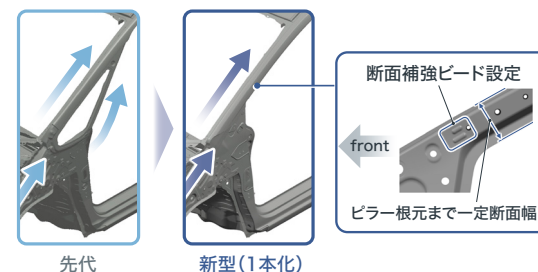
● 重量増を最小限に抑え衝突安全性能を向上

前面衝突エネルギーをエンジンルーム全体で吸収させるというコンセプトを踏襲したうえで、ダッシュボードロアの仕様を変更しキャビン変形を抑制。側面衝突に対してはフロアフレームスティフナーやサイドシルスティフナーの強度アップを行いました。これらにより、ボディー重量への影響を最小限に抑えながら、優れた生存空間保持性能を確保しました。



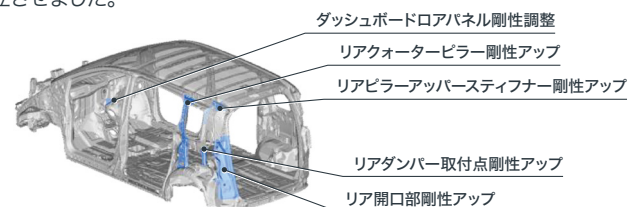
● 前面衝突に対応し運転視界の向上に寄与する高強度フロントピラー

フロントピラーを根元まで一定断面幅としたうえで、衝突時の応力が集中する湾曲部にビードを追加することで強度を向上。先代モデルを上まわる前面衝突エネルギー吸収性能を実現しました。これによりフロントサポートピラーの廃止を可能とし、運転席からのななめ前方視界を向上させました。

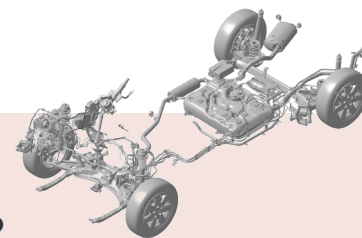


● 安心感の高い車両挙動に貢献する優れた剛性バランス

やみくもに剛性値を高めるのではなく、自然な車両挙動をめざして剛性バランスを適正化しました。アウトリガーの採用やフロアフレームスティフナーの大型化により、フロントのねじり剛性を10%、接地点横剛性を5%、それぞれ向上。フロントサスペンションからの入力に対し車両の応答性を向上させました。リアまわりはピラー稜線をスムーズに連続させボディー上部の剛性を向上。安心感の高い車両挙動と質感の高い乗り心地を両立させました。



※ 3列シートガソリン車をベースに、2列シート車、e:HEV車、AWD車など多彩なタイプバリエーションを最小限の専用パーツで実現する共通骨格。



あつかいやすさと穏やかな乗り心地を追求し、細部まで磨き上げたシャシー。

新型フリードがめざすあつかいやすさと穏やかな乗り心地を実現するために、サスペンションのフリクションを徹底的に低減。サスペンションの動きをスムーズにすることで、操舵した瞬間にクルマが

素直に向きを変える応答性を獲得したうえ、路面から伝わる不快な振動を抑制し、長距離ドライブでも疲れにくい上質な走りを実現しました。

● サスペンション

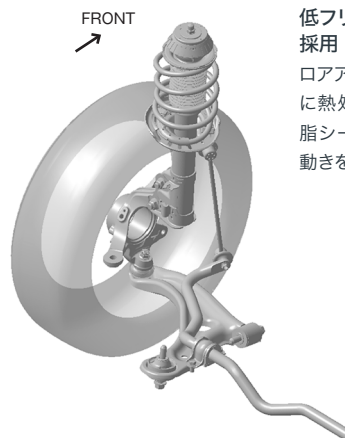
● 細かな凹凸も素早く吸収するフロントサスペンション

マクファーソン・ストラット式を踏襲し、振幅の妨げとなるフリクションを先代モデルに対し大幅に低減。舗装路の細かな凹凸も素早く効果的に吸収し、快適な乗り心地をもたらします。

【主なフリクション低減技術】

横力キャンセル量の増大

サスペンションスプリングの形状と配置を変更し、先代モデルに対し横力キャンセル量を増大。ダンパーロッドに入る横力を低減することで摺動フリクションを最小化。



低フリクションボールジョイントの採用

ロアアームボールジョイントのボールに熱処理工程を追加し、ボールと樹脂シート間の面圧を低減することで動きをスムーズ化。

スタビライザーリンクのフリクション低減

スタビライザーとサスペンションをつなぐボールジョイント(スタビライザーリンク)の樹脂シート形状を変更し、ボールの接触面積を減らすことでフリクションを低減。

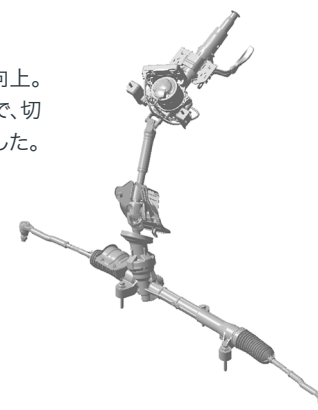
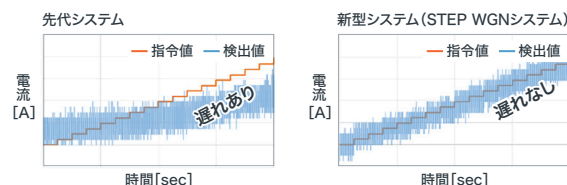
● 高性能ダンパーバルブがもたらす優れた乗り心地

ダンパーバルブに高応答・高速ブローオフタイプを採用し、安心感の高いハンドリングと快適な乗り心地を実現しました。

● ステアリングシステム

電動パワーステアリング(EPS)の制御分解能を先代モデルに対し向上。システムの電流指令値に対し実電流の立ち上がりを早期化することで、切り始めからスムーズにアシストする上質なステアフィールを実現しました。

電流制御特性



● ブレーキシステム

電子制御パーキングブレーキとオートブレーキホールド機能を全タイプに標準装備しました。

● 電子制御パーキングブレーキ

スイッチを軽く引き上げるだけでパーキングブレーキが作動し、ブレーキペダルを踏みながらスイッチを押すことで解除。渋滞時や信号待ちの際に作動させた場合、アクセルペダルを踏むことでブレーキを自動解除でき、ストップ&ゴーの続く走行シーンなどでドライバーの負担を軽減します。

● オートブレーキホールド機能

スイッチをオンにしておけば、信号待ちなどでの停車中にブレーキペダルから足を離しても停車状態を維持。ドライバーの負担を軽減します。アクセルを踏めばブレーキが自動で解除され、発進が可能です。新型フリードは、e:HEVやエンジンをオフにしても設定を保持するメモリー機能を装備。再始動時に前回乗車時の設定で運転できます。



※ ゴムなどの粘弾性体を力により変形させると力を抜いても形状が完全には戻らない現象。

みんなで会話が楽しめる優れた静粛性。

普段使いの街乗りでも休日のロングドライブでも、乗員みんなで会話を楽しめる静かな空間を追求。パワートレイン振動の低減や効率的な防音材配置によって、加速ノイズとロードノイズを低減し、先代モデルを上回る静粛性を達成しました。

● 加速ノイズの低減

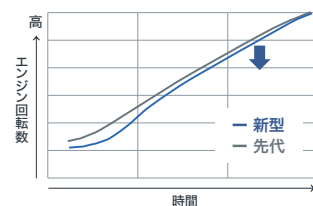
● e:HEV車

発電時のエンジン回転数を低めに抑える制御に加え、3点のエンジンマウントすべてを成形自由度の高い樹脂製とし、各マウントの構造を最適化。優れた振動遮断性能により、全周波数帯域にわたりエンジン振動の伝達を低減しました。

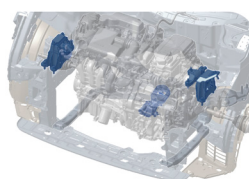
加速時静粛性比較イメージ図



加速時エンジン回転数比較イメージグラフ



樹脂製エンジンマウント



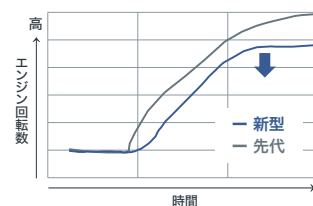
● ガソリン車

静粛性に有利なポート噴射エンジンの採用に加え、キックダウン時のエンジン回転数を低減する変速制御により振動を低減。市街地で多用する緩加速時も、高速道路の合流などで必要な全開加速時も、先代モデルを上回る静粛性を達成しました。

加速時静粛性比較イメージ図



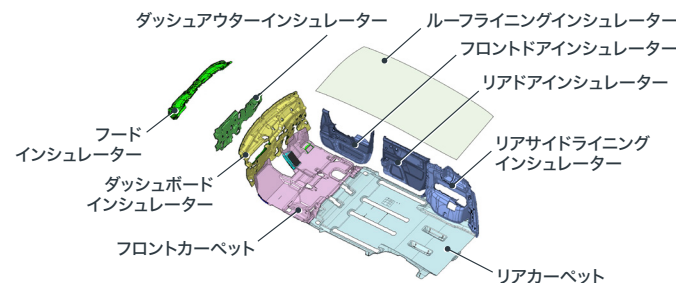
加速時エンジン回転数比較イメージグラフ



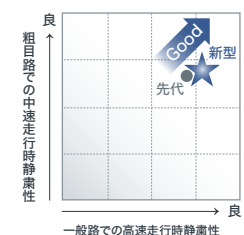
● ロードノイズの低減

車両全体の静粛性を総合的に追求する「防音パッケージ」の考え方を採り入れ、重量増を最小限に抑えながら先代モデル同等の優れた静粛性を追求。遮音材や制振材の効率的な配置により、2列目席では先代モデルを上回る静粛性を達成しました。

高効率防音パッケージ



2列目席クルーズ時静粛性比較イメージグラフ



安全



安心・安全な移動をサポートする、さらに進化したHonda SENSING。

かねてよりHondaは、「Safety for Everyone」をグローバルスローガンに、道を使うすべての人が安心して暮らせる「事故に遭わない社会」をめざして技術を向上させてきました。そして2021年4月、より具体的な目標として「2050年 交通事故死者ゼロの実現」を世界に発表し、その実現に向けて歩み

を加速しています。「Honda SENSING」は、「事故に遭わない社会」をめざして開発され、進化を続ける先進の安全運転支援システム。新型フリードでは、先代モデルに対し大幅に機能を進化させたシステムを採用。リアルワールドを見据えた衝突安全性能と合わせ、安心・安全な移動をサポートします。

■システム概要

広い有効水平画角を持つフロントワイドビューカメラと高速画像処理チップにより、従来システム以上の広い範囲と高い精度で対象物を検知。一般道で歩行者が横から車道に侵入した場合や、高速道路で他車が自車前方に割り込んだ場合など、いち早い検知と制御で安心感のある運転支援を行います。また、車両前後のソナーセンサーは、「踏み間違い衝突軽減システム」などを実現します。

検知範囲イメージ図



■ フロントワイドビューカメラによる検知
■ ソナーセンサーによる検知

●フロントワイドビューカメラ

広い有効水平画角と高い解像度で対象物をいち早く検知します。



●ソナーセンサー

音波の反射を利用しガラスや外壁など非金属材料も高い精度で検知。車両前部にソナーセンサーを追加し「踏み間違い衝突軽減システム」を実現します。



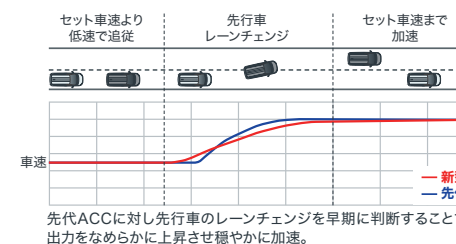
■ドライバーの感覚にマッチした自然な運転支援

優れた検知性能と画像処理能力を活かし、アクセル、ブレーキ、ステアリングの制御を新型フリードに合わせて進化させました。高速クルージングでは、先行車の減速や離脱、カーブに対してより早く制御することで、ゆるやかな加減速となめらかな操舵を実現。熟練ドライバーさながらの運転支援を行います。

●ドライバーの感覚にマッチした加減速支援 [渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)]

先行車の挙動をいち早く判断し、穏やかなアクセル操作となめらかなブレーキ操作を実現。安心感のあるクルーズ走行を支援します。

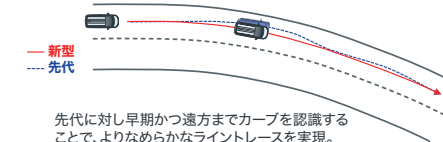
先行車離脱時の自車加速イメージ



●自然でなめらかな操舵支援 [車線維持支援システム(LKAS)]

より遠くのカーブ曲率を認識してステアリング操作をアシスト。なめらかで安心感のあるコーナリングを支援します。補正制御を備え、路面の傾きや横風などの外乱を受けた場合にも、車線の中央を走行できるよう支援します。

コーナリング時の補正イメージ



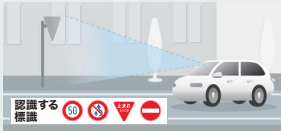
街なかで

ぶつからないために 衝突軽減ブレーキ(CMBS)



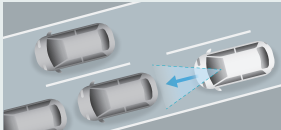
街なかで

ものがさらないために 標識認識機能

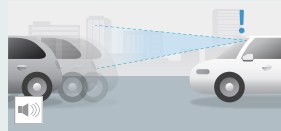


高速道路で

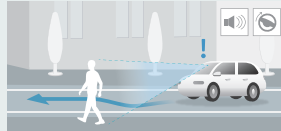
適切な車間距離を保つために 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)



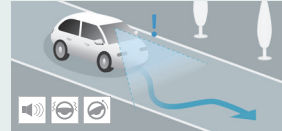
発進をお知らせ 先行車発進お知らせ機能



歩行者に配慮 歩行者事故低減ステアリング



はみ出さないために 路外逸脱抑制機能

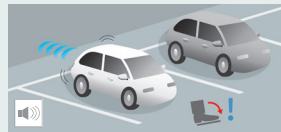


駐車場で

飛び出さないために 誤発進抑制機能※1



不意の後退を防ぐために 後方誤発進抑制機能※1



ぶつからないために 近距離衝突軽減ブレーキ※1



踏み間違いに備えるために 急アクセル抑制機能※2



駐車場で

駐車も出庫もスムーズに パーキングセンサーシステム※3

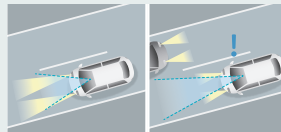


左右から近づくクルマをお知らせ 後退出庫サポート※4 タイプ別メーカーオプション



夜間に

良好な視界確保のために オートハイビーム



自車と他車の良好な視界確保のために アダプティブドライビングビーム タイプ別メーカーオプション



■Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。

車両をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある車両や歩行者、人が乗車して移動する自転車に対して衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに作動し、停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■先行車発進お知らせ機能は、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h～約40km/hで走行中、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測したときに、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウィンカーを作動させている場合には作動しません。■路外逸脱抑制機能は、約30km/h以上で走行中、システムが路外への逸脱を予測したときに作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているとき、また、ウィンカーを作動させている場合には作動しません。■標識認識機能は、最高速度、はみ出し通行禁止、一時停止、車両進入禁止の道路標識を認識し、メーターに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で走行中に作動します。■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、停車中またはブレーキペダルが踏まれている時に作動します。先行車に接近しすぎる場合には、ブレーキペダルを踏むなどして適切な車間距離を保ってください。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■車線維持支援システム(LKAS)は、約65km/h以上で走行中に作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウィンカーを作動させている場合は作動しません。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。■トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)は、0km/h～約65km/hで作動します。高速道路や自動車専用道路を運転するときに使用してください。また、運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているとき、また、ウィンカーを作動させている場合は作動しません。■ブラインドスポットインフォメーション(見えにくい位置)に他の車両がいることを知らせるシステムです。二輪車等が検知範囲に入ったときなど、条件によっては正しく作動しない場合があります。車線変更や合流時には必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認して運転してください。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行中、自車のほぼ真正面の近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止します。■後方誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で後退中、自車のほぼ真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだことにより、衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な後退を防止します。■近距離衝突軽減ブレーキは、約2km/h～約10km/hで走行中、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断したときに、ブレーキを制御し停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を支援します。■急アクセル抑制機能は、停止中や約30km/h以下で走行中に、踏み間違いと思われる急なアクセルペダル操作であるとシステムが判断したときエンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な加速を抑制します。交差点や本線への合流など、加速が必要な状況想定した、ウィンカー操作と解除後約2秒間、アクセルペダルを大きく踏み込むことが想定される登坂路、加速のためのブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み換え直後約2秒間は作動しません。■パーキングセンサーシステムは、車両や周囲の状況によりシステムが正しく作動しない場合があります。システム使用時も直接目視で周辺の安全確認を行いながら運転してください。■後退出庫サポートは出庫時の安全確認をサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。天候、積載荷重などの影響を受け、システムが正しく作動しない場合があります。■オートハイビームは、約30km/h以上で走行中に作動します。ハイビームとロービームの自動切り替え制御には状況により限界があります。必要に応じて手動で切り替え操作を行ってください。■アダプティブドライビングビームは、約10km/h以上で走行中に作動します。照射範囲のコントロールには限界があります。必要に応じて手動でハイビーム/ロービームの切り替えを行ってください。アダプティブドライビングビームによる照射中は、メーター内にハイビーム表示灯が点灯します。

※1 「誤発進抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。

※2 工場出荷時は機能オフの設定です。オンにするには別途販売会社の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用(ディーラーオプション)が必要となります。

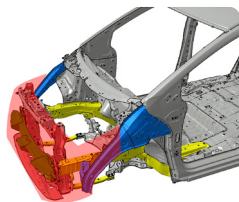
※3 ナビ画面上に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ※4 システムを使用するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ■イラストは機能説明のためのイメージ図です。

衝突安全性能／先進装備

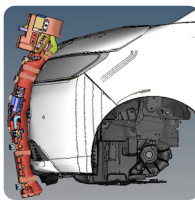
リアルワールドを見据えた衝突安全性能

第三者評価で最高評価を獲得した先代モデルの骨格をベースに、リアルワールドにおける乗員保護性能を向上させました。さらに、相手車両への攻撃性を低減するコンパティビリティ対応ボディや優れた歩行者保護性能によって、道を使うすべての人に配慮した安全性能を追求しています。

コンパティビリティ対応ボディ



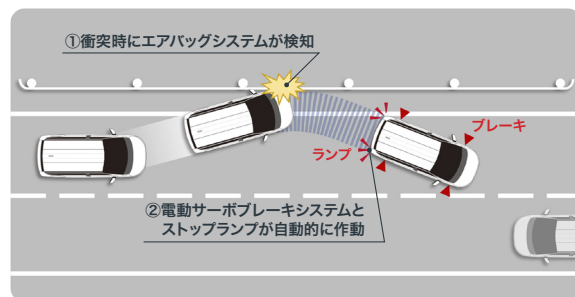
歩行者保護（脚部）



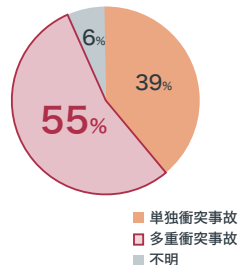
多重衝突事故^{※1}の危険を低減する衝突後ブレーキシステム

万一の事故の際、多重衝突事故の危険を低減する衝突後ブレーキシステムを、e:HEV車に採用しました。事故実態調査^{※2}の結果から、重傷以上発生事故の約55%が、1台の車両に対し複数回の衝突が発生する多重衝突事故であったことが明らかとなりました。衝突後ブレーキシステムは、衝突をエアバッグシステムが検知すると、電動サーボブレーキシステムとストップランプを自動的に作動させ、車両を減速させるとともに減速を周囲に知らせることで多重衝突の危険を低減させます。

衝突後ブレーキシステム（ガードレール衝突時イメージ）



重症以上発生事故の形態



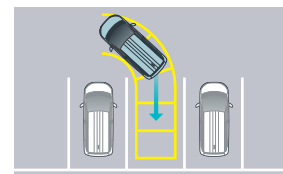
マルチビューカメラシステム

マルチビューカメラシステムをフリードとして初めて採用しました。フロントグリル、左右ドアミラー、テールゲートに備えた4つのデジタルカメラで車両の周囲を撮影し、高精細な合成映像にガイド線などを加えてディスプレイに表示します。車両を上空から見下ろしたようなグラウンドビューをはじめ、状況に応じたわかりやすい映像を提供することで、バック駐車時はもちろん、見通しの悪い交差点に進入する際や狭い道で対向車とすれ違う場合などに確認を補助し、運転にゆとりと安心感をもたらします。

マルチビューカメラシステム



バック駐車

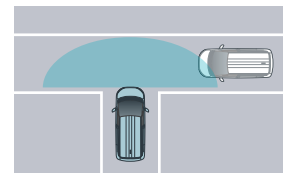


表示例



リアビュー+グラウンドビュー
グラウンドビューには予測進路を示すガイド線やタイヤ切れ角も合成表示

見通しの悪い交差点

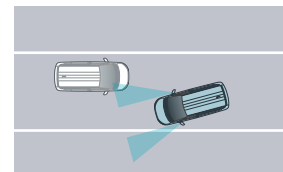


表示例



フロントブラインドビュー
視野角約180°のカメラにより、見通しの悪い交差点などの視界をサポート

狭い道でのすれ違い



表示例



左右サイドビュー
左右を同時に表示し、狭い路地での対向車とのすれ違いなどをサポート

※1 多重衝突事故は一台の車両に対し複数回の衝突が発生する事故。

※2 米国運輸省道路交通安全局（NHTSA）の衝突事故データベース（NASS-CDS）による2004～2006年の統計。

■マルチビューカメラシステムでは立体物が歪んだり、上部が画面に映らないなど、画面の映像と実際の状況が異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て走行すると接触事故等、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。路面が滑りやすくなっているなどの場合は、タイヤのスリップにより、マルチビューカメラシステムの予測ガイド線と車両の実際の動きとずれが生じることがあります。バンパーの両コーナー付近、バンパーの下にあるものは映りません。映し出す映像は雨の日、夜間など天候や周囲の状況によって見えにくくなることがあります。

コネクティビティ



安心・快適なカーライフサポートサービス「Honda Total Care プレミアム」。

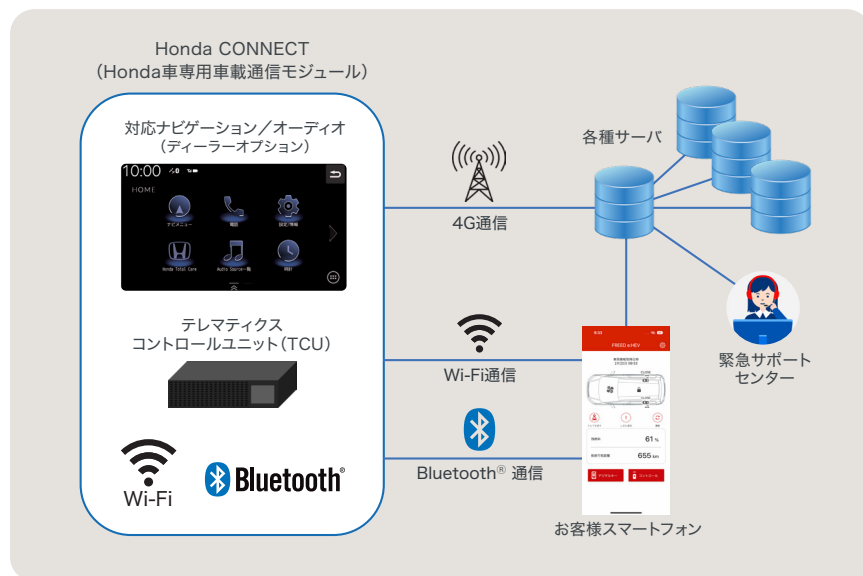
車載通信モジュール「Honda CONNECT」を搭載。対応するナビとオーディオをディーラーオプションでご利用しました。ボタンひとつでオペレーターが対応する「緊急サポートセンター」、車内で

ゲーム機やタブレットなどを便利に使える車内Wi-Fiなど、「Honda Total Care プレミアム」が提供する充実したサービスをご利用いただけます。

●システム概要

Honda CONNECTは、3つの無線規格に対応する車載通信モジュール。お客様のクルマのデータを送受信し、それらを活用することで安心・快適なカーライフに役立つさまざまなサービスを実現します。

Honda
CONNECT



●Honda Total Care プレミアム サービス一覧



スマホでクルマの操作や確認ができる

Honda リモート操作^{※1}

- エアコン操作 ●スライドドア操作
- クルマを探す ●忘れ通知・操作



ボタン一つでオペレーターが対応
緊急サポートセンター



スマホがクルマのキーになる
Honda デジタルキー^{※1※2}



あたらしい地図に自動で更新
自動地図更新サービス^{※3※4}



クルマをWi-Fiスポットに
車内Wi-Fi^{※5}



盗難・いたずらに迅速対処
Honda ALSOK駆けつけサービス



Honda Total Care プレミアム

「Honda Total Care」へのご加入、および
「Honda Total Care プレミアム」へお申込
いただくとご利用いただけます。

●対応ナビゲーション/オーディオ(ディーラーオプション)



●11.4インチ Honda CONNECTナビ
多彩な機能をフル搭載した大画面ナビ。

●9インチ Honda CONNECTナビ
充実した機能を搭載したコストバランス
重視ナビ。

●8インチ Honda CONNECTナビ
必要十分な機能を備えたスタンダードモデル。

●8インチ ディスプレイオーディオ
(Honda CONNECT対応)
スマートフォンを車載ディスプレイで利用したい
方へ向けたモデル。

※1 「Honda リモート操作アプリ」のダウンロードが別途必要となります。 ※2 本サービス利用中であっても、インターネット通信圏外やスマートフォンの充電残量がなくなった場合などは機能利用ができなくなる場合がありますので、Hondaスマートキーを常に携帯してください。 ※3 「Honda CONNECTナビ」装着車のみご利用いただけます。 ※4 「Honda Total Care プレミアム」基本パック解約時は、工場出荷時の地図に戻ります。 ※5 装着したナビにより購入方法は異なります。

FREED CROSSTAR
スロープ
リフトアップシート(助手席)



日常づかい、レジャーづかい、介護づかいに便利なFREED CROSSTAR スロープ。

すべてのひとに、移動する喜びを。そうした思いから、さまざまな工夫を盛り込んで実績を重ねてきた車いす仕様車を、「FREED CROSSTAR スロープ」として設定しました。「3WAY Universal Mover」をコンセプトに、日常づかい、レジャーづかい、介護づかいのすべてで利便性を

追求。クロスオーバースタイルのデザインとあいまって、さまざまなシーンに似合い、より幅広い層のお客様にご愛用いただけるクルマに仕上げました。

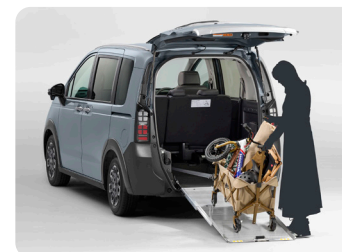
3WAY 1 日常づかい

スロープとウインチを使えば、まとめ買いした重たい荷物もラクラク積載できます。スロープを前に倒せば、広大な荷室を2段に分割して使用可能。汚れものを分けて収納するなど、自由な使い方ができます。



3WAY 2 レジャーづかい

趣味の乗り物やキャンプで便利なキャリーワゴンなど、重たい道具もウインチとスロープでラクラク積載。ウインチベルトや固定ベルトを使ってしっかり固定することもできます。



3WAY 3 介護づかい

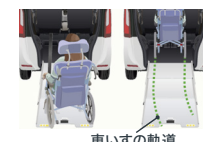
出し入れ簡単なスーパーフレックススロープと電動ウインチ(速度調整機能・進路補正付)で車いすの乗り入れをサポート。リアクーラーとリアヒーターダクト(車いす乗車スペース用)を備え、夏も冬も快適な環境を車いす乗員に提供します。

リアクーラー



●電動ウインチ (速度調整機能・進路補正付)

車いすが斜めに進入した場合でも左右のベルトの巻き取り速度を調整し、乗車時の進路を補正。まっすぐに引き上げるようサポートし、介助する方の負担を軽減します。



車いすの軌道

FREED CROSSSTAR リフトアップシート(助手席)

自由な移動の喜びを拡げる、CROSSSTAR リフトアップシート(助手席)。

車いすやつえを利用している方がラクに乗り降りできる電動リフトアップシートを「FREED CROSSSTAR」の助手席に設定しました。助手席に乗車すれば移動中の会話がよりしやすく、長距離のお出かけもより楽しくなります。



● 助手席の乗り降りがラクに

助手席が回転・昇降し乗り降りをサポートします。操作はすべて電動でラクに行えます。



回転／昇降ボタン(シート側面)



ラクな姿勢で操作できるリモコンを標準装備



● 電動シートスライド&リクライニングで快適ドライブ

リフトアップシートの前後位置と背もたれ角度は電動で調節可能。快適な姿勢でドライブを楽しむことができます。



電動リクライニング



電動シートスライド



主要装備

要表示		FREED e:HEV										FREED									
		AIR		AIR EX		CROSSTAR		スロープ		AIR		AIR EX		CROSSTAR		スロープ		リフトアップシート（助手席）			
タイプ		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD				
駆動方式		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD				
乗車定員		6名	6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名	6名 (通常時5名/ 重い乗車時6名)	6名	6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名 (通常時5名/ 重い乗車時6名)	6名		
安全装備・運転支援機能	Honda SENSING (衝突軽減ブレーキ(CMBS)、誤発進抑制機能※1、後方誤発進抑制機能※1、近距離衝突軽減ブレーキ※1、歩行者事故減速ステッピング、追突急制動抑制機能、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(A-CC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(渋滞追従支援機能)、先行車発進お知らせ機能、横断路追従機能、オートハイビーム、パーキングセンサーシステム※2)	●		●			●		●		●		●		●		●		●		
	急アクセル抑制機能	※3		※3		※3		※3		※3		※3		※3		※3		※3			
	アダプティブドライビングビーム		○		○		○		○		○		○		○		○				
	ブラインドスポットインフォメーション						●		●		●		●		●		●		●		
	後進出庫サポート※4			○		○		○		○		○		○		○		○			
	マルチビューカメラシステム※4			○		○		○		○		○		○		○		○			
	LEDアクロフォーニングライト																				
	【全タイプ標準装備】●アジアハイランドリングアシスト ●運転席用&助手席用・SRSエアバッグシステム ●1列目シート用・サイドエアバッグシステム・サイドカーテンエアバッグシステム(1～3列目シート対応)※5 ●フルLEDヘッドライト(デュアルランニングランプ付)(オートレベリング/オートライトコントロール機能付) ●電子制御パーキングブレーキ ●オートブレーキホールド機能 ●エコアシスト(ECONモード)(ガソリン車はコーティング機能付) ●全席シートベルト非着用警報(シートベルトリマインダー)※6 ●EBD(電子制御制動力配分システム)付ABS ●VSA(ABS+TC+S+横すべり抑制) ●LEDハバウンド・ストップランプ ●エマージェンシーストップランプ ●ヒルスタートアシスト機能 ●1列目シート3点式ロードミッター付プリテンションERLシートベルト+運転席/助手席クランププリテンション ●2列目シート3点式ELRシートベルト(左右席はロードリミッター付プリテンションERLシートベルト) ●3列目シート3点式ELRシートベルト※7 ●Sizeチャイルドシート対応 ISOFIX下部取付金具(2列目左席)トップアダプター取付金具(2列目左席) ●メモビライザー(国土交通省認可品) ●セキュリティーアラーム(国土交通省認可品) ●サイドアンダーミラー																				
	Honda CONNECT for Gathers+ナビ装着用スペシャルパッケージ		●		●		●		●		●		●		●		●		●		
	運転席&助手席シートヒーター		●		●		●		●		●		●		●		●		●		
快適装備・メーター	リアクーラー																				
	PTCヒーター※		●		●		●		●		●		●		●		●				
	USBチャージャー(Type-C/急速充電対応タイプ2個付)(運転席/助手席シートバック上部)						●		●						●		●	※8			
	クコメーター																				
	【全タイプ標準装備】●インサートTFT液晶メーター ●両側パワースライドドア(アイジーオーブドアハンドル/タッチセンサー/誤込み防止機能付) ●スライドドア・アイジーローザー(リア両側) ●予約ロック ●フルオート・エアコンディショナー ●4スピーカー ●Hondaスマートキーシステム※9(降車時オートドアロック機能/キー2個付)とパワースイッチ※10 ●テレスコピック・デジタルステアリング ●パワーウィンドウ(運転席/後席両側付) ●パワーウィンドウ(運転席/後席両側付)(助手席/スライドドア) ●パワードアロック ●リアヒーターダクト ●PM2.5対応高性能集塵フィルター ●マルチタッチメーションディスプレイ(タイヤ角度モニター/トリップメーター/エネルギーフロー(e:HEV)/平均燃費/瞬間燃費/平均車速/総走行距離/経過時間 など) ●運転席/助手席シート ●ヘッドライトオートオフ機能 ●ワンタッチウインカー ●アクセルシフトゲート(DC12V) ●リアシートリマインダー																				
インテリア	2列目キャブシート(両側アームレスト付)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	2列目6:4分割タンブルシート(センターアームレスト付)																				
	2列目6:4分割可倒式シート(ダブルウォールダウン機構付)					●	●	●	●												
	3列目5:5分割はね上げシート		●		●		●		●		●		●		●		●	●			
	コンビシート(フレームスムース×ファブリック)&専用インテリア※11						CROSSTAR専用		CROSSTAR専用					CROSSTAR専用		CROSSTAR専用	CROSSTAR専用	CROSSTAR専用			
	本革巻ステアリングホイール(スモースレザー)						●		●		●		●		●		●				
	インパネガーニッシュ(運転席)&インパネアップリックス(助手席側)	FABTECT※12		FABTECT※12		プライムスムース		プライムスムース		FABTECT※12		FABTECT※12		プライムスムース		プライムスムース		プライムスムース			
	シフトパネル	●		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装		防汚・好触感塗装			
	シルバー塗装エアコンアウトレット						●		●		●		●		●		●				
	本革巻セレクトレバー						●		●		●		●		●		●				
エクステリア/ガラス	シートバックポケット(助手席)			●		●		●		●		●		●		●		●			
	シートバックアッパーポケット(運転席/助手席)			●		●		●		●		●		●		●		※13			
	ドリンクホルダー(3列目左右)		●		●		●	●	●		●		●	●	●		●	●			
	ユーティリティナット(テールゲート)		●		●		●		●		●		●		●		●	●			
	ユーティリティナット(荷室)					●	●	●	●				●	●	●	●	●				
	ユーティリティサイドパネル					●	●	●	●				●	●	●	●	●				
	荷室用ユーティリティボード					●	●	●	●				●	●	●	●	●				
	タイダンプフック						4ヵ所		2ヵ所					4ヵ所		2ヵ所		2ヵ所			
	ラゲッジルーム内アクセサリ・ソケット(DC12V)					●	●	●	●	●				●	●	●	●				
	【全タイプ標準装備】●FABTECT(撥水・撥油)※14 ●大径アシストグリップ(リア左右)+センターピラーアシストグリップ(リア左右) ●グラブレール(1～3列目左右)※15 ●コンビニック付1列目シートアームレスト※16 ●ロールサンシェード(スライドドア両側) ●フロントマップランプ/ルームランプ/ラゲッジルームランプ/テールゲートランプ(バックドアランプ) ●防眩ルームミラー ●運転席用&助手席用バニティミラー付サンバイザー※17 ●高輝度シルバー塗装インナードアハンドル(フロント) ●インパネトレイ(助手席側) ●センタートレイ ●スモアトレイ+センターローアポケット ●ドリンクホルダー(運転席/助手席) ●収納式ドリンクホルダー(助手席側) ●ボトルホルダー付大型ドアポケット(運転席/助手席) ●スライドドア・ボトルホルダー(両側)																				
エクステリア/ガラス	ロングテールゲート						●		●		●		●		●		●	●			
	電動格納式リモコンドアミラー(LEDウインカー付)		●		●		●		●		●		●		●		●	●			
	オートリトラミラー			●		●		●				●		●		●		●			
	コンフォートビューパッケージ(撥水/ビードドアミラー+フロントドア撥水ガラス+フロントコーナー撥水ガラス+熱輸入フロントウィンドウ)		●		●		●		●		●		●		●		●				
	アウタードアハンドル		●		●		●		●		●		●		●		●	●			
リアライセンシャルガーニッシュ		●		●		●		●		●		●		●		●	●				
【全タイプ標準装備】●360° スーパーUV・IRカット パッケージ(IRカット(運転)/UVカット機能付フロントウィンドウガラス、IRカット(運転)/スーパーUVカットガラス(フロントドア)、IRカット(運転)/スーパーUVカットガラス(リアドア/リアクォーター/テールゲート)) ●シャークフィンアンテナ ●フルLEDリアコンビネーションランプ(ストップランプ&テールランプ) ●LEDリアライセンスタンプ ●車速連動側入/リアリパ側欠フロントワイパー(ミスト機能付) ●ウォシター付側入ワイパー(リパース運転) ●熱線式リアウィンドウデフォッガー																					

● は標準装備 ● はメーカーオプション		タイプ	FREED e:HEV								FREED															
			AIR		AIR EX		CROSSTAR				スロープ		AIR		AIR EX		CROSSTAR				スロープ		リフトアップシート（助手席）			
			駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF		
乗車定員		6名		6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名	6名 (通常時5名/ 車いす乗車時6名)		6名	6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名	6名 (通常時5名/ 車いす乗車時6名)		6名			
足まわり・走行関連・メンテナンス	15インチスチールホイール＋スチールラジアルタイヤ＋フルホイールキャップ		●												●											
	15インチアルミホイール＋スチールラジアルタイヤ				●		CROSSTAR専用デザイン				●		CROSSTAR専用デザイン				●		CROSSTAR専用デザイン				●		CROSSTAR専用デザイン	
	【全タイプ標準装備】●応急パンク修理キット（スペアタイヤレス）※18																									
	【e:HEV専用装備】●衝突後ブレーキシステム ●車両接近通報装置 ●e:HEVエンブレム ●電動サーボブレーキシステム																									
【CROSSTAR専用装備】●LEDフォグライト ●専用フロントグリル ●専用バンパー（フロント/リア） ●ホイールアーチプロテクター ●サイドシルガーニッシュ ●リアローガーニッシュ（高輝度シルバー塗装） ●アルミルーフレール																										
【CROSSTARスロープ専用装備】●スーパーフレックススロープ ●電動ウインチ（速度調整機能・進路補正付） ●ウインチベルト巻取速度スイッチ（2段階） ●電動ウインチ用リモコン ●車いす乗員用3点式ELRシートベルト ●車いす固定ベルト ●リアヒーターダクト（車いす乗車スペース用）																										
【CROSSTARリフトアップシート（助手席）専用装備】●電動リフトアップシート（リクライニング&スライド機構付） ●リフトアップシートリモコン ●車いす固定用ネット&保護カバー																										

※PTC（自己温度制御システム）: Positive Temperature Coefficient

※1 「衝突追従抑制機能」、「後方誤発進抑制機能」、「近距離衝突軽減ブレーキ」を組み合わせて「踏み間違い衝突軽減システム」と呼びます。 ※2 ナビ画面上に表示するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ※3 工場出荷時は機能オフの設定です。オンにするには別添売売上の専用機器によるセッティング作業が必要です。別途セットアップ費用（デューアオプション）が必要となります。 ※4 システムを使用するには、対応するナビゲーションが必要となります。 ※5 FREED e:HEV CROSSTAR（5名）、FREED CROSSTAR（5名）、FREED e:HEV CROSSTAR スロープ、FREED CROSSTAR スロープは1～2列目シート対応となります。 ※6 FREED e:HEV CROSSTAR スロープ、FREED CROSSTAR スロープの車いす乗員用シートベルトにはシートベルトリマインダーが装備されません。 ※7 FREED e:HEV CROSSTAR（5名）、FREED CROSSTAR（5名）、FREED e:HEV CROSSTAR スロープ、FREED CROSSTAR スロープには装備されません。 ※8 FREED CROSSTAR リフトアップシート（助手席）は運転席シートバック上部のみとなります。 ※9 「Hondaスマートキーシステム」は、施設・解錠のときなどに電波を発信します。その際、極小型心臓ペースメーカー等の医療用電子機器に影響を与える可能性があります。 ※10 ガソリン車は「ワッシュエンジンスタート/ストップスイッチ」が装備されます。 ※11 シート「座面・背もたれ」のファブリック部分に撥水・撥油加工（FABTECT）を施しております。 ※12 インパネアップリックスのみとなります。 ※13 FREED CROSSTAR リフトアップシート（助手席）は運転席のみとなります。 ※14 シート「座面・背もたれ」などのファブリック部分に撥水・撥油加工を施しております。 ※15 FREED e:HEV CROSSTAR スロープ、FREED CROSSTAR スロープは1～2列目左右となります。 ※16 FREED CROSSTAR リフトアップシート（助手席）のコンビニフックは運転席のみとなります。 ※17 FREED e:HEV AIR、FREED AIRのバニティミラーは運転席のみとなります。 ※18 工具（ジャッキ/ジャッキハンドル/バー/ホイールナットレンチ（兼ジャッキハンドル））は装備してあります。

■メーカーオプションは組み合わせによっては同時装着できない場合がございます。また、他のメーカーオプションとセット装着になる場合がございます。

■仕様ならびに装備は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

主要諸元

主要諸元		FREED e:HEV										FREED																			
		タイプ		AIR		AIR EX		CROSSTAR				スロープ		AIR		AIR EX		CROSSTAR				スロープ									
駆動方式		FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	スロープ	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	スロープ								
乗車定員		6名		6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名	6名 (通電時5名/ 車いす乗車時6名)	6名		6名	7名	6名	5名	6名	5名	6名	6名 (通電時5名/ 車いす乗車時6名)										
車名・型式		ホンダ・6AA-GT5		ホンダ・6AA-GT7	ホンダ・6AA-GT5	ホンダ・6AA-GT7	ホンダ・6AA-GT6	ホンダ・6AA-GT8		ホンダ・6AA-GT6		ホンダ・5BA-GT1	ホンダ・5BA-GT3	ホンダ・5BA-GT1		ホンダ・5BA-GT3	ホンダ・5BA-GT2	ホンダ・5BA-GT4		ホンダ・5BA-GT2											
トランスミッション		電気式無段変速機										無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)																			
全長(m)		1.695										4.310																			
全幅(m)		1.720										1.695																			
全高(m)		【FF車】1.755 【4WD車】1.780										2.740																			
ホイールベース(m)		2.740										1.480/1.485																			
トレッド(m)		前/後										【FF車】0.135 【4WD車】0.150																			
最低地上高(m)		1.460 1.550 1.480 1.480 1.560 1.480 1.490 1.560 1.580 1.530										1.370 1.460 1.380 1.400 1.470 1.400 1.390 1.470 1.470 1.440																			
車両重量(kg)		1,460	1,550	1,480	1,480	1,560	1,480	1,490	1,560	1,580	1,530	1,370	1,460	1,380	1,400	1,470	1,400	1,390	1,470	1,470	1,440										
客室内寸法(m)		長さ/幅/高さ		2.645/1.470/1.270(7人乗りは1.260)		1.935(6人乗りは2.645)/1.470/1.270 (スロープは1.190)		2.645/1.470/1.280		1.935(6人乗りは2.645)/1.470/1.280 (スロープは1.275)																					
原動機		原動機型式										LEB-H5										L15D									
		エンジン型式										LEB										L15D									
		エンジン種類・シリンダー数及び配置										水冷直列4気筒横置																			
		弁機構										DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2																			
		総排気量(L)										1.496																			
		内径×行程(mm)										73.0×89.4																			
		圧縮比										13.5										10.6									
		燃料供給装置形式										電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)																			
		使用燃料種類										無鉛レギュラーガソリン																			
		燃料タンク容量(L)										【FF車】42 【4WD車】53																			
電動機(モーター)		電動機型式/電動機種類										H5/交流同期電動機										—									
エンジン		最高出力(kW[PS]/rpm)										78[106]/6,000-6,400										87[118]/6,600									
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)										127[13.0]/4,500-5,000										142[14.5]/4,300									
		最高出力(kW[PS]/rpm)										90[123]/3,500-8,000										—									
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)										253[25.8]/0-3,000										—									
		燃費消費率(国交省省算値)(WLTC-cv)(km/L)										25.6 21.3 25.4 25.3 21.2 25.5 25.3 21.3 21.1 25.0										16.5 14.5 16.4 16.3 14.4 16.4 16.4 14.4 14.4 16.2									
燃費		市街地モード(WLTC-L)(km/L)										25.9 21.4 25.7 25.7 21.3 25.8 25.7 21.4 21.2 25.4										12.1 11.0 12.1 12.0 11.0 12.1 12.1 11.0 11.0 12.0									
		郊外モード(WLTC-M)(km/L)										27.8 22.7 27.5 27.4 22.6 27.6 27.4 22.7 22.5 26.9										17.4 15.0 17.3 17.1 15.0 17.3 17.3 15.0 15.0 16.9									
		高速道路モード(WLTC-H)(km/L)										24.2 20.5 24.1 24.0 20.4 24.1 23.9 20.4 20.3 23.7										18.8 16.3 18.7 18.6 16.2 18.7 18.7 16.2 16.2 18.4									
		主要燃費向上対策										ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング										可変バルブタイミング、自動無段変速機(CVT)、電動パワーステアリング									
最小回転半径(m)		5.2																													
動力用主電池		種類/個数										リチウムイオン電池/48										—									
加速比		前速/後速										—										前速:2.526~0.408 後速:2.706~1.432									
減速比		【FF車】第一:2.454(電動機駆動)0.805(内燃機駆動) 第二:3.909										【FF車】15.436										【FF車】15.436									
		【4WD車】第一:2.454(電動機駆動)0.805(内燃機駆動) 第二:前3.909 後2.533										【4WD車】前5.436 後2.533																			
ステアリング装置形式		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)																													
タイヤ		前-後										185/65R15 88S																			
主ブレーキの種類・形式		前/後										油圧式ベンチレテッドディスク/油圧式ディスク																			
サスペンション方式		前/後										【FF車】マクファーソン式/車軸式 【4WD車】マクファーソン式/ド・ティオン式																			
スタビライザー形式		前/後										【FF車】トーション・バー式/— 【4WD車】トーション・バー式/トーション・バー式																			

資料利用者の安全な利用に配慮して、お客様の個人情報の取扱い(収集、加工等)の方法(例えば、匿名化、アクセス使用等)に応じて利用目的を異ならせています。WiLTEネットワーク:市街地、郊外、高速道路等の走行モードに平均的な使用頻度に応じて作成した膨大なデータをもとに、市街地モード:信号や道路の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や道路の影響を受けにくい走行を想定。高速道路モード:走行速度が速い走行を想定。

※主要機能はWi-Fi Allianceの登録技術による型式指定申請書情報。●FREED, FREED AC, CROSSTAR, エコアシスト, FABTECH, HODA SENSING, LKAS, PGM-FI, プライムスムーズ、Prime Smooth, VSA, VTECなどは本田技研工業株式会社の商標です。

●Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。●製造事業者:本田技研工業株式会社

		タイプ		FREED CROSSSTAR リフトアップシート(助手席)	
		駆動方式		FF	
		乗車定員		6名	
車名・型式		ホンダ・58A-GT2			
トランスミッション		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)			
寸法・重量	全長/全幅/全高(m)	4.310/1.720/1.755			
	ホイールベース(m)	2.740			
	トレッド(m)	前/後	1.480/1.485		
	最低地上高(m)	0.135			
	車両重量(kg)	1,470			
	客室内寸法(m)	長さ/幅/高さ	2.645/1.470/1.280		

エンジンの仕様及び最高出力と最大トルク、最小回転半径についてはFREED CROSSTARと同一となります。
■FREED CROSSTAR リフトアップシート(助手席)は持ち込み登録の3ナンバーとなります。**■上記諸元値及び数値**はメーカー設計値であり、参考数値です。登録時には車両の実測値が適用されます。

福祉機器に関する貸付・助成制度

購入資金の一部貸付、改造費や免許取得のための助成など、幅広い貸付・助成制度が用意

されています。各自自治体によって条件が異なったり、未実施の場合がありますので、詳しくは「福祉車両総合カタログ」に掲載の問い合わせ先にてご確認ください。

自治体の予算、お客様の収入により適用されない場合がありますので問い合わせ先にてご確認ください。

環境仕様



「2030年度燃費基準
達成率」
e:HEV(FF)



「2030年度燃費基準
90%達成率」
e:HEV(4WD)



75%低減レベル」認定車
e:HEV

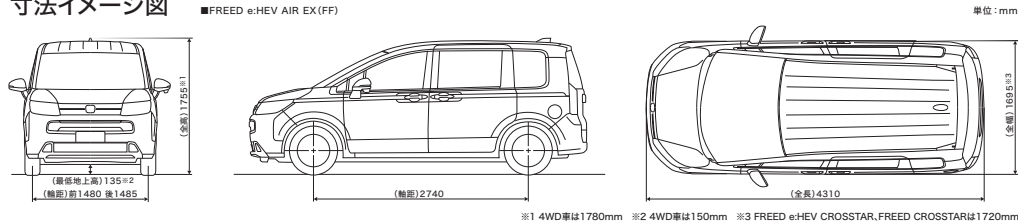


50%低減レベル」認定率
ガソリン車

基準情報	車両型式		6AA-GT5			6AA-GT6			6AA-GT7			6AA-GT8			5BA-GT1			5BA-GT2			5BA-GT3			5BA-GT4		
	原動機	型式/総排気量 (L)	LEB-H5/1,496												L15D/1,496											
	駆動方式		FF						4WD						FF						4WD					
駆動装置	駆動方式		—												CVT											
	変速機		—												—											
燃料消費率※1	燃費 (km/L)※2		25.6	25.4	25.3	25.5	25.3	25.0	21.3	21.2	21.3	21.1	16.5	16.4	16.3	16.1	16.2	14.5	14.4							
	市街地モード (WLTC-L)		25.9	25.7	25.8	25.7	25.4	21.4	21.3	21.4	21.2	12.1	12.0	12.1	12.0			11.0								
	WLTCS※3	郊外モード (WLTC-M)		27.8	27.5	27.4	27.6	27.4	26.9	22.7	22.6	22.7	22.5	17.4	17.3	17.1	17.3	16.9	15.0							
	高速道路モード (WLTC-H)		24.2	24.1	24.0	24.1	23.9	23.7	20.5	20.4	20.3	18.8	18.7	18.6	18.7	18.4	16.3	16.2								
	CO ₂ 排出量 (g/km) (燃費からの換算値)		90.7	91.4	91.8	91.0	91.8	92.9	109.0	109.5	109.0	110.0	140.7	141.6	142.4	141.6	143.3	160.1	161.2							
排出ガス	参考		2030年度燃費基準達成率												2030年度燃費基準90%達成率						—					
	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準75%低減												平成30年排出ガス基準50%低減						—					
	試験モード		WLTCモード												—						—					
	認定基準値 (単位: g/km)	CO	1.15												—						—					
	NMHC	0.025												0.05						—						
Nox	0.013												0.025						—							
参考		九都県市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)												—						—						
環境性能情報	適合音質規制レベル		平成28年騒音規制 規制値・加速走行68dB(A)												—						—					
	エアコン冷媒	種類/GWP値※3	HFO-1234yf/1※4												—						—					
	使用量		600g (R1234yf-UNIT有)、380g (R1234yf-UNIT有)												620g (R1234yf-UNIT有)、380g (R1234yf-UNIT有)						—					
	車室内VOC		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度計値以下)												—						—					
	環境負荷物質規制	鉛	自工会目標達成 (1996年使用量※5の1/10)												—						—					
	水銀	自工会目標達成 (2005年1月以降使用禁止※6)												—						—						
	六価クロム	自工会目標達成 (2008年1月以降使用禁止)												—						—						
	カドミウム	自工会目標達成 (2007年1月以降使用禁止)												—						—						
環境への取り組み	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て												—						—					
		リサイクルし易い材料※7を使用した部品	ウインドウモール、パンパーフェースなどの内外装部品												—						—					
		再生材を使用している部品	—												—						—					
		リサイクル可能率	車全体で95%以上※8												—						—					
	その他	グリーン購入法適合状況		グリーン購入法適合率												—						—				

※1 燃料消費量は必ずしも燃料燃焼条件によって異なる。お客様の使用状況（気温、気圧等）や運転方法（送風、送水、A/B使用等）によって燃料消費量は変動いたします。※2 WLTCモード（市街地、外周、高速道路の各走行モード）で平均的な走行時間割合で燃費した結果の走行モード。※3 市街地モード・市街地走行時の影響を受ける較低速走行時を想定した走行モード。※4 市街地走行時の影響を受ける走行モード。※5 高速道路モード・高速道路時の走行モード。※6 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数) ※7 CO₂排出係数 ※8 CO₂排出量は、2023年度までの燃費データを用いて算出されたものであり、実際には2023年度以降の燃費データが変更となる可能性があります。※9 1996年採用時の燃費データを使用し、1850G(ワット・時)を基準とした必要燃費の削減率を算出した値です。※10 ポリプロピレン、ポリエチレンの2種類の燃費データが示されています。※11 燃費の単位は、1リットルあたり100km(リットル/100km)です。2024年6月現在までの値です。

寸法イメージ図



※1 4WD車は1780mm ※2 4WD車は150mm ※3 FREED e:HEV CROSSTAR、FREED CROSSTARは1720mm

登録・税金について		スロープ	リフトアップシート(助手席)
タイプ		FREED CROSSSTAR	FREED CROSSSTAR
登録		持ち込み登録不要	持ち込み登録
ナンバー		3ナンバー	3ナンバー
乗車定員(名)		通常時5/ 車いす乗車時6	6
車検		初回3年 以降2年	初回3年 以降2年
税金	消費税	非課税	非課税
	環境性能割、自動車税	身体障害者が多くしくはご家族がご購入される場合には、 免税措置が適用される場合があります。	

上記措置の詳細は、最寄りの市区町村役場・福祉事務所・税務署にお問い合わせください。

●障がいの部位や程度によっては、車両の機能が十分に活かしきれない場合があります。

●シートに深く着座できない方、膝が曲がらない方の場合は座った状態で足などが車体にあたりシートの回転が困難になる場合がありますのでご注意ください。

●介護をする方の力が弱い場合は、乗り降り時及び車いす収納時など困難になる場合がありますのでご注意ください。

●ソフトテニスシューズの操作及び正しい収納は、介護する方が安全に心がけ確実に行ってください。